

# KX-45ED1

トリニロン カラーモニター  
取扱説明書

# 主な特長

**直視型45型  
トリニオンブラウン管を搭載**

**新デジタル技術を駆使して  
高画質を実現**

**動き適応型ノンインターレース**  
ラインフリッカーをなくし垂直解像度をアップ

**動き適応型3次元くし形フィルター**  
クロスカラーを大幅に改善

**2次元輪郭補正**  
鮮やかな立体感のある画像を再現

**デジタルノイズリデューサー**  
ノイズを低減し、美しい色彩とくっきりした画像を実現

**完全ラインロック**  
いかなる映像ソースにおいても美しく鮮明な画像を実現

## アナログ高画質回路

**オートカットオフ機能**  
長時間使用しても色温度を一定に保持

**ニューダイナミック カラー回路**  
生き生きとした肌色、輝くような白を再現

**CCDくし形フィルター**  
細かい縦縞や、白い文字などのモアレやニジミを解消し、解像度をアップ

**ディレー ライン アバコン**  
プリシュート、オーバーシュートの量と幅を最適化し、鮮鋭な画像を実現

**電磁速度変調回路**  
白い文字周辺のブルーミングを軽減し、くっきりした画像を再現

## 便利な機能

**S映像出力端子付きのビデオデッキと接続できるS映像入力端子を装備**

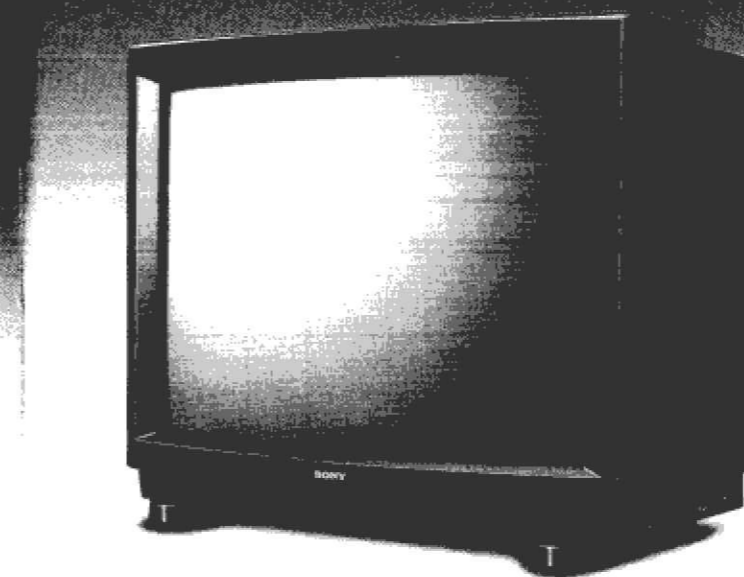
**豊富なビデオ/オーディオ入出力端子、RGB、倍速RGB入力端子を装備**  
さまざまなAV機器との組み合わせや文字放送、キャプテンシステムなどに対応

**AVシステムのコントロールセンターとして使用可能**  
コントロールS入出力端子、リモコン受光部を装備

**プログラマブル リモコン付属**  
学習機能によってソニーのAV機器のみならず、他メーカーのAV機器も操作可能

# 目次

	各部の名前……………	4
準備	設置するときのご注意……………	8
	接続のしかた……………	9
操作	ビデオ系機器の画像を見るには……………	22
	テレビを見るには……………	24
	RGB系機器の画像を見るには……………	26
	便利な機能……………	30
	画像と音声を調節するには……………	32
	プログラマブルコマンドーの使いかた……………	36
	複数の機器を操作するには……………	41
その他	主な仕様……………	45
	保証書とアフターサービス……………	47

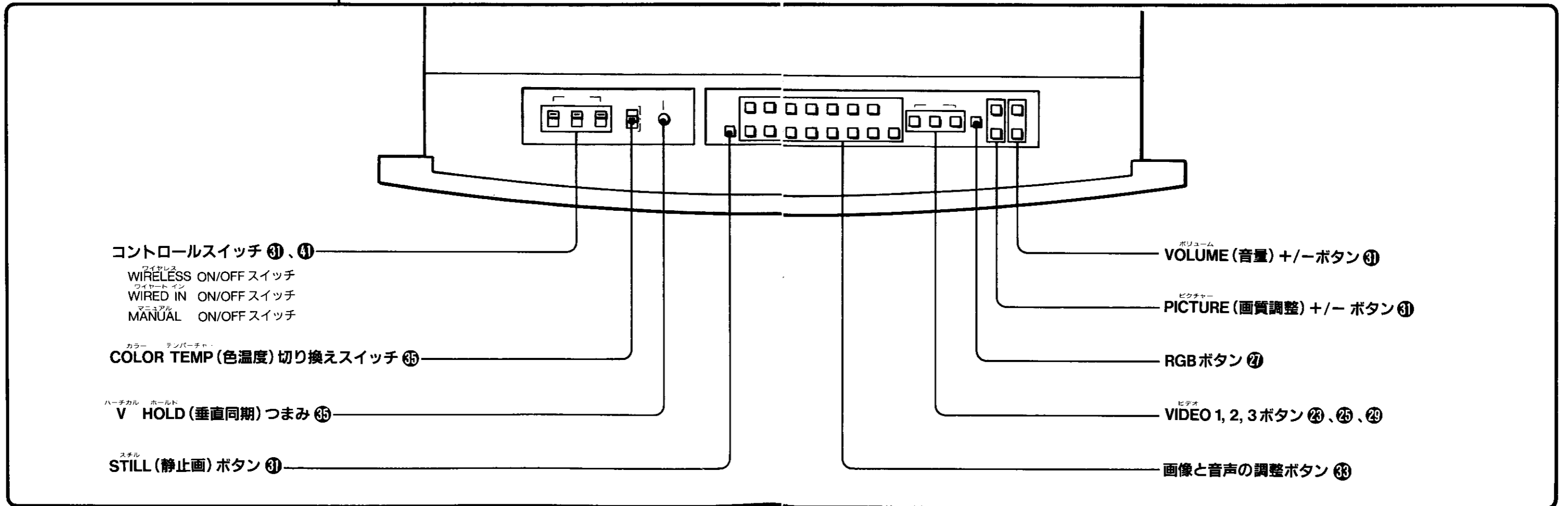
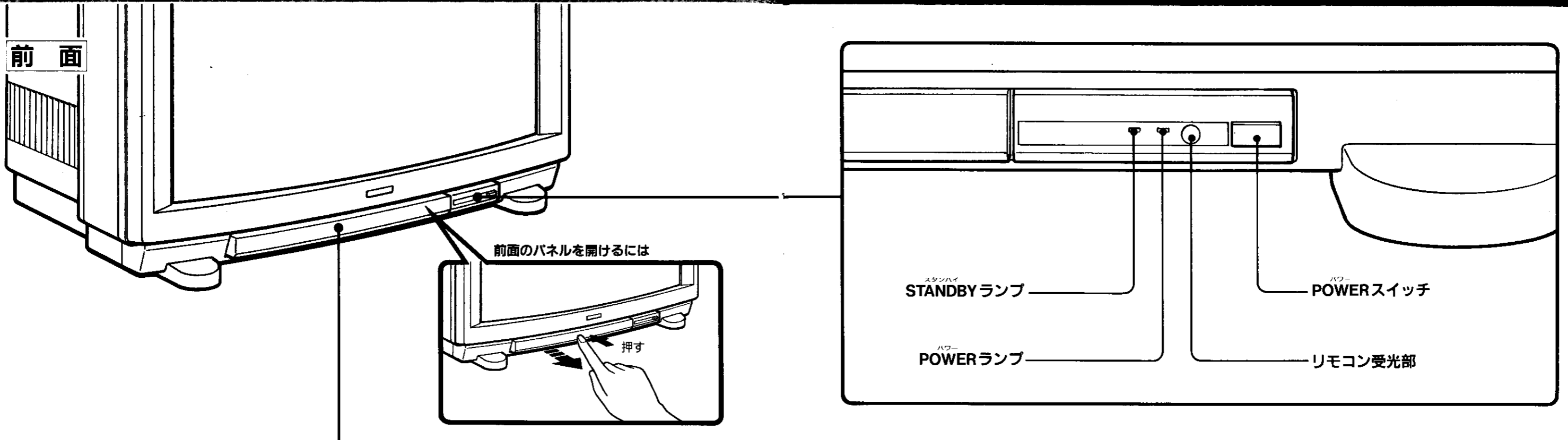


お買い上げいただきありがとうございます。  
お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。  
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

# 各部の名前

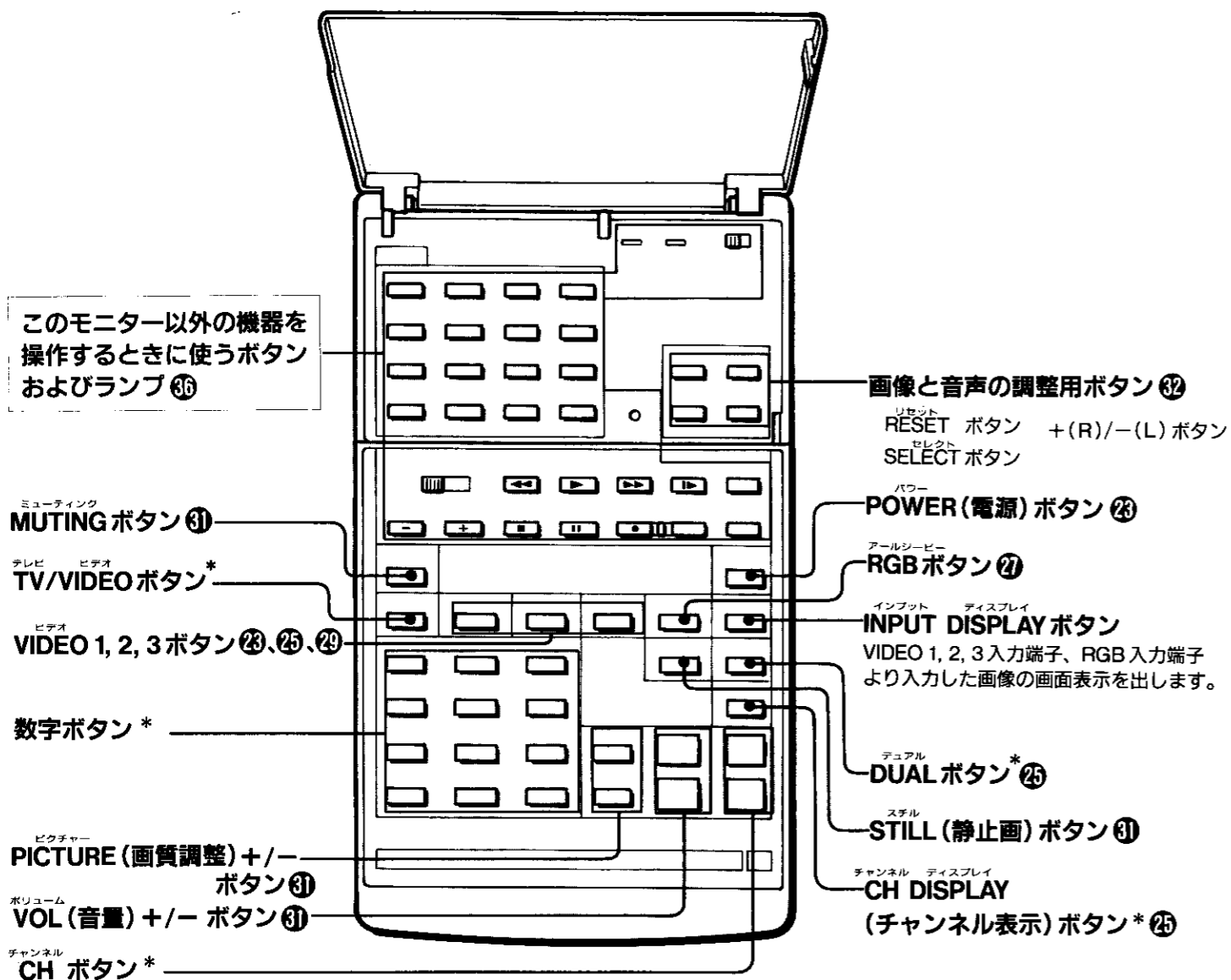
内のページに操作説明があります。接続端子の説明は 9 ~ 10 ページをご覧ください。

次ページにつづきます ▶



# 各部の名前

## プログラマブルコマンダー RM-572



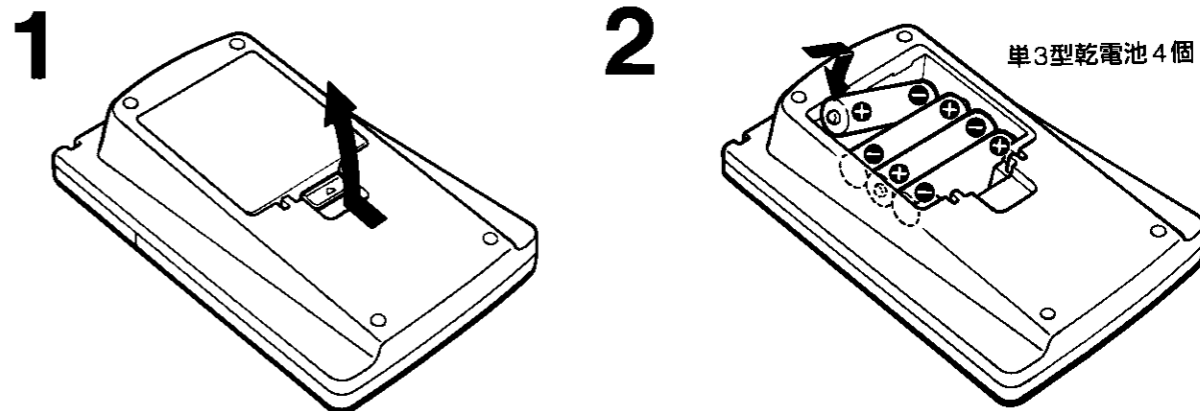
\*印のボタンはソニーのカラーテレビ、カラーテレビチューナー操作用のボタンです。

### リモコンについてのご注意

- 落としたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光のあたる所や暖房器具のそばなどの温度の高い所や、湿気の多い所には置かないでください。
- テレビのリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。
- リモコン操作ができない場合があります。

6

### 電池の入れかた



### 乾電池についてのご注意

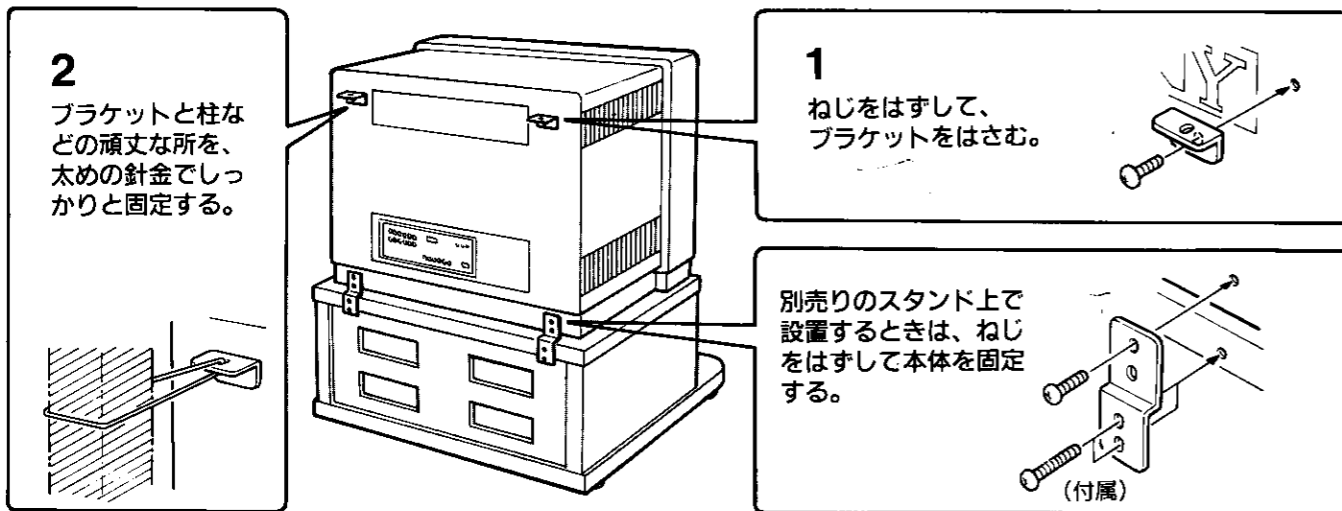
- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。
- ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
  - 新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

- 乾電池は充電できません。
- 長い間乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。

7

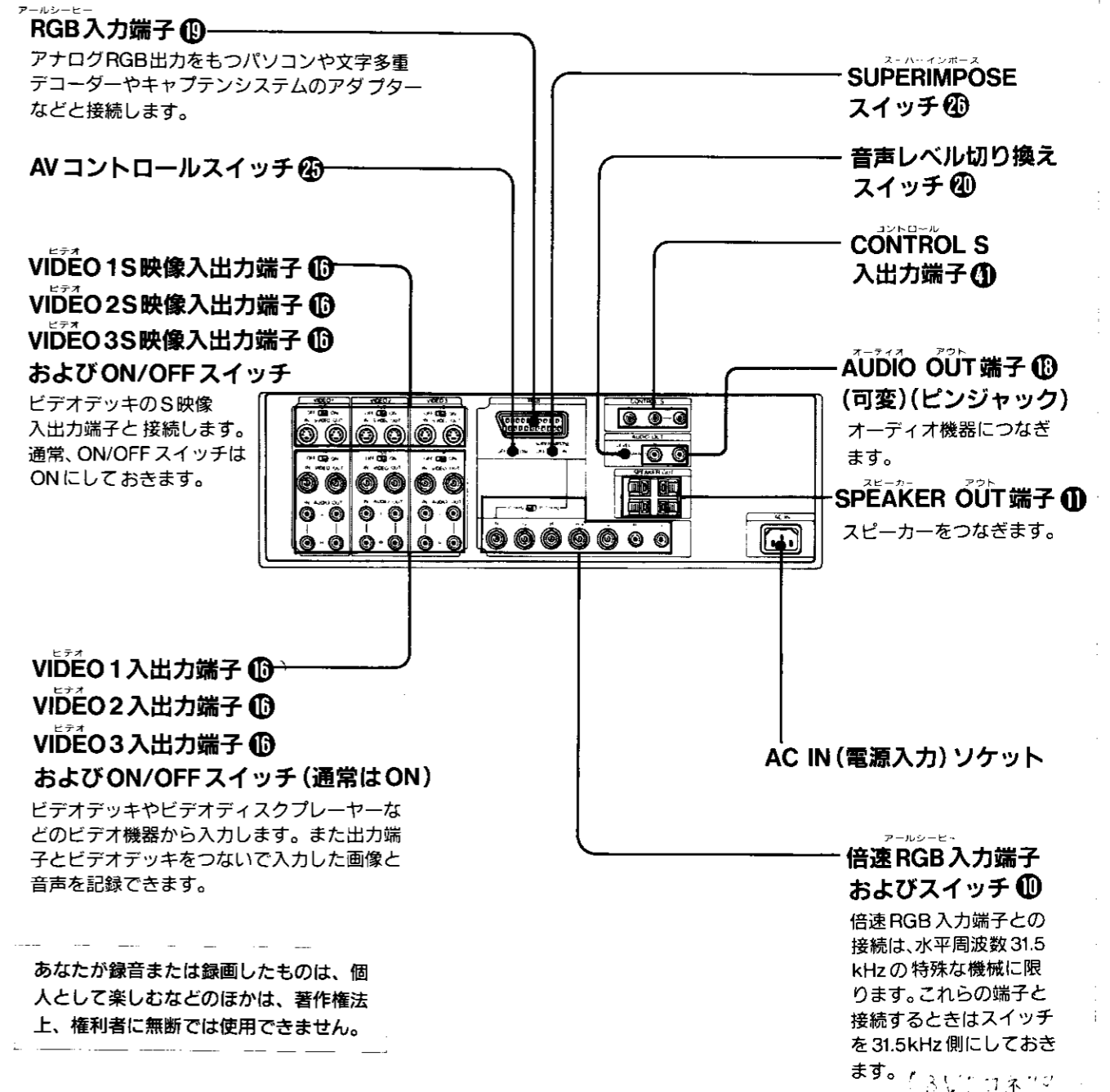
- ・付属の電源コードを用いて、本体裏面の電源入力とコンセントをつなぎます。
- ・このモニターを設置するときには設置調整(ランディング調整)が必要です。モニターを移動したとき、向きを変えたときは、再度設置調整が必要になります。お買い上げ店、または添付の「サービス窓口、ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ・約200kgの重量のため、設置場所の床強度にご注意ください。
- ・モニターの置きかたが不安定だったり、お子様がモニターに登ったり、押したりされると、モニターが倒れるおそれがあります。このような事故を防ぐため、また地震などの非常時に備えて、お買い上げ店または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- ・本体の周辺に磁気を帯びているもの(スピーカー、鉄骨など)を近づけないでください。画面に色むらがでることがあります。
- ・新たにビデオデッキなどを接続するときのために、本体裏面に接続可能なスペースをとって設置してください。

## テレビの転倒を防ぐには



## 接続端子の名前

### モニター部(裏面)



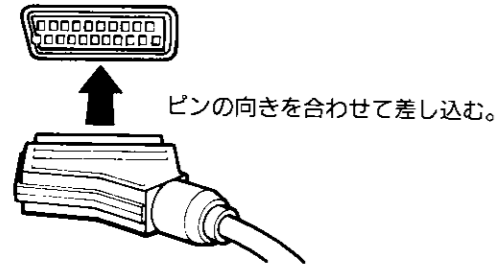
**VIDEO 1, 2, 3入力およびS映像、ON/OFFスイッチについて**  
S映像または映像入出力端子を使って接続するときはそれぞれのスイッチをONにします。複数のモニターを接続して同じ画像を見るとき(ブリッジ接続)は、出力につないである端子のON/OFFスイッチをOFFにします。

**S映像入力端子と映像入力端子両方に接続した場合**  
モニター部に入ってくる信号はS映像入力端子からの入力になります。映像入力端子からの映像を見る場合には、S映像入力端子からへの接続をはずしてください。

## 接続端子の使いかた

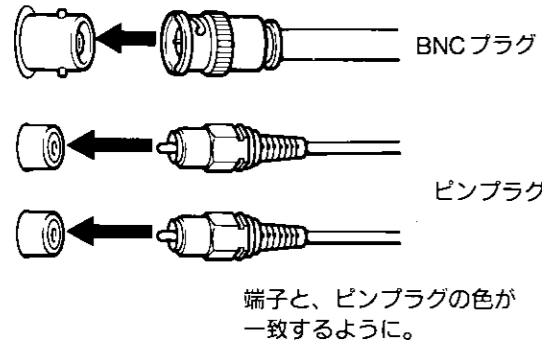
### 各種端子へのつなぎかた

#### RGB入力端子

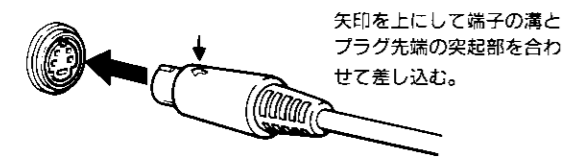


#### ビデオ1、2、3入出力端子

(映像、音声)



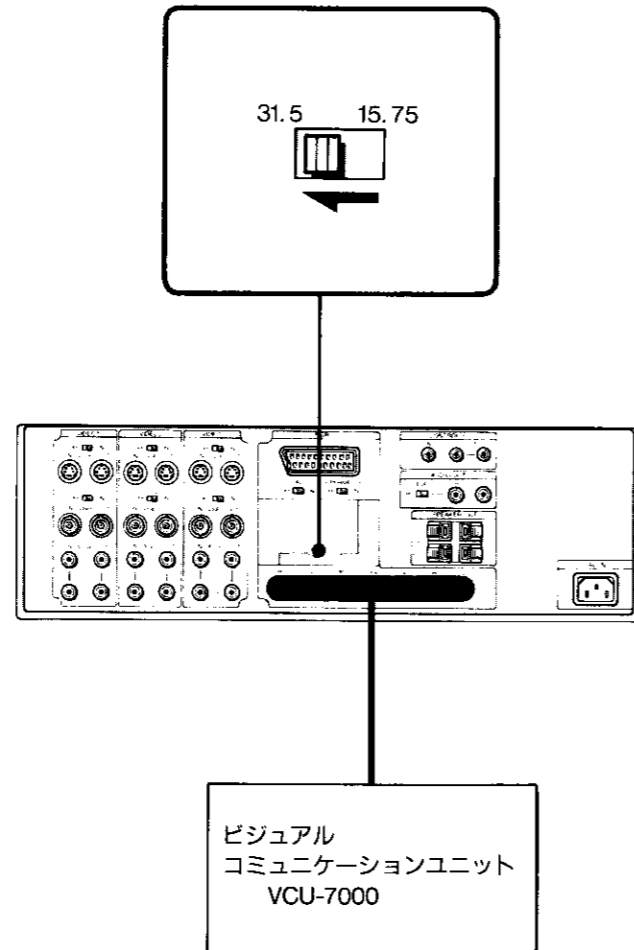
(S映像)



### 倍速RGB入力端子について

倍速RGB入力端子との接続は、水平周波数31.5kHzの特殊な機械に限ります。

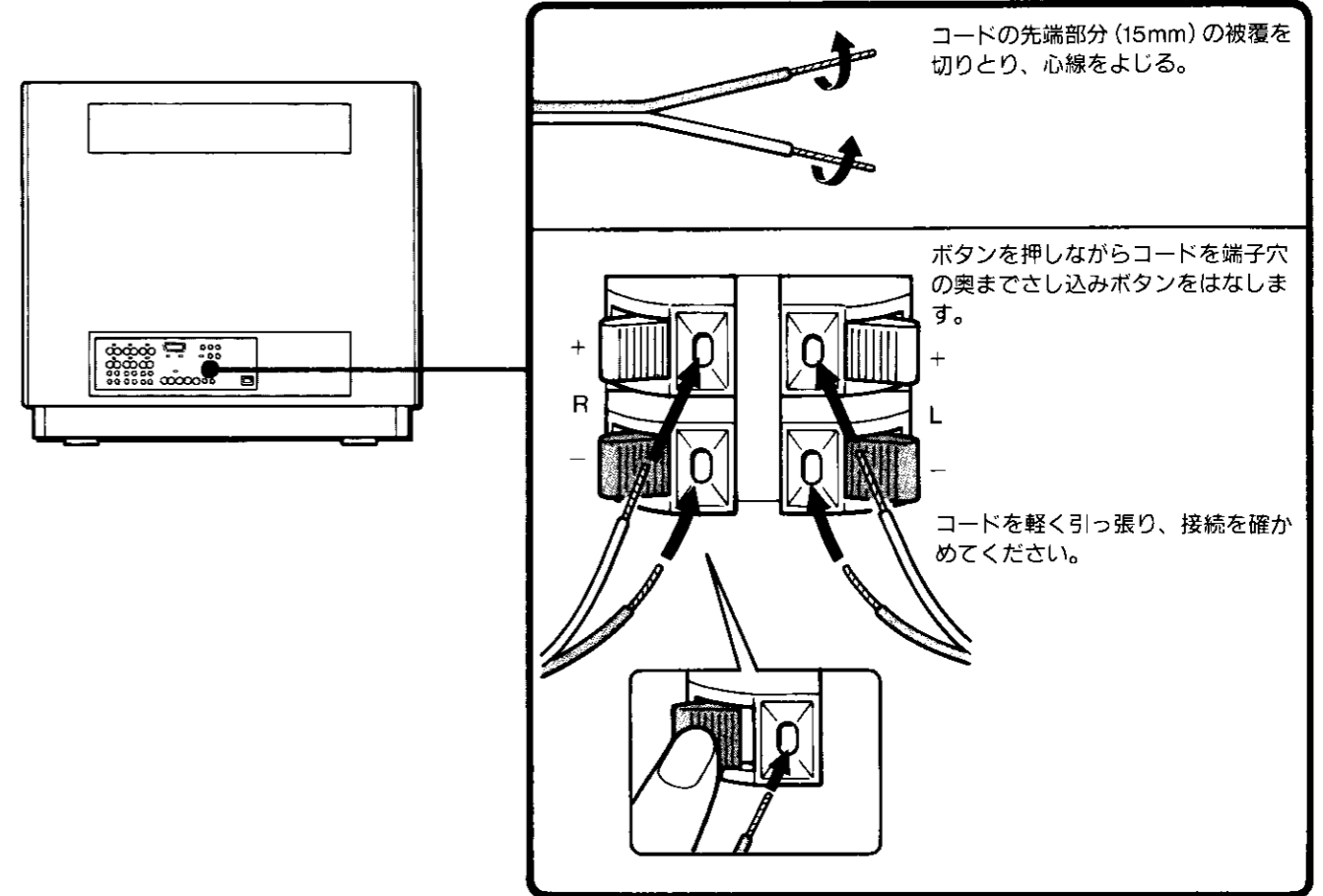
例



- 画像や音にノイズや雑音が出るときは、つないだ機器がモニターに近すぎる場合がありますので、十分離してください。

## スピーカー端子に直接スピーカーをつなぐには

別売りのスピーカーをつなぎます。

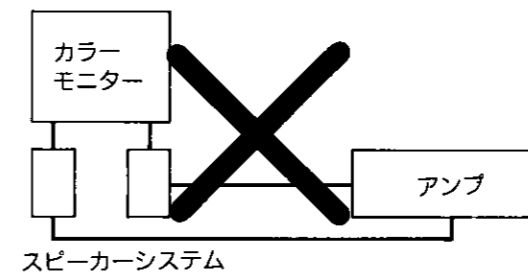


### 接続について

- 心線がはみ出してスピーカー端子同士がショートしないようにしてください。
- コードと端子の左右や+-をとり違えないようにしてください。
- 一組のスピーカーをお手持ちのアンプとモニターの両方へ接続すると、スピーカーコードを通じてアンプから過大な電流が流れることがあり、モニターの故障の原因になります。

### スピーカーの種類について

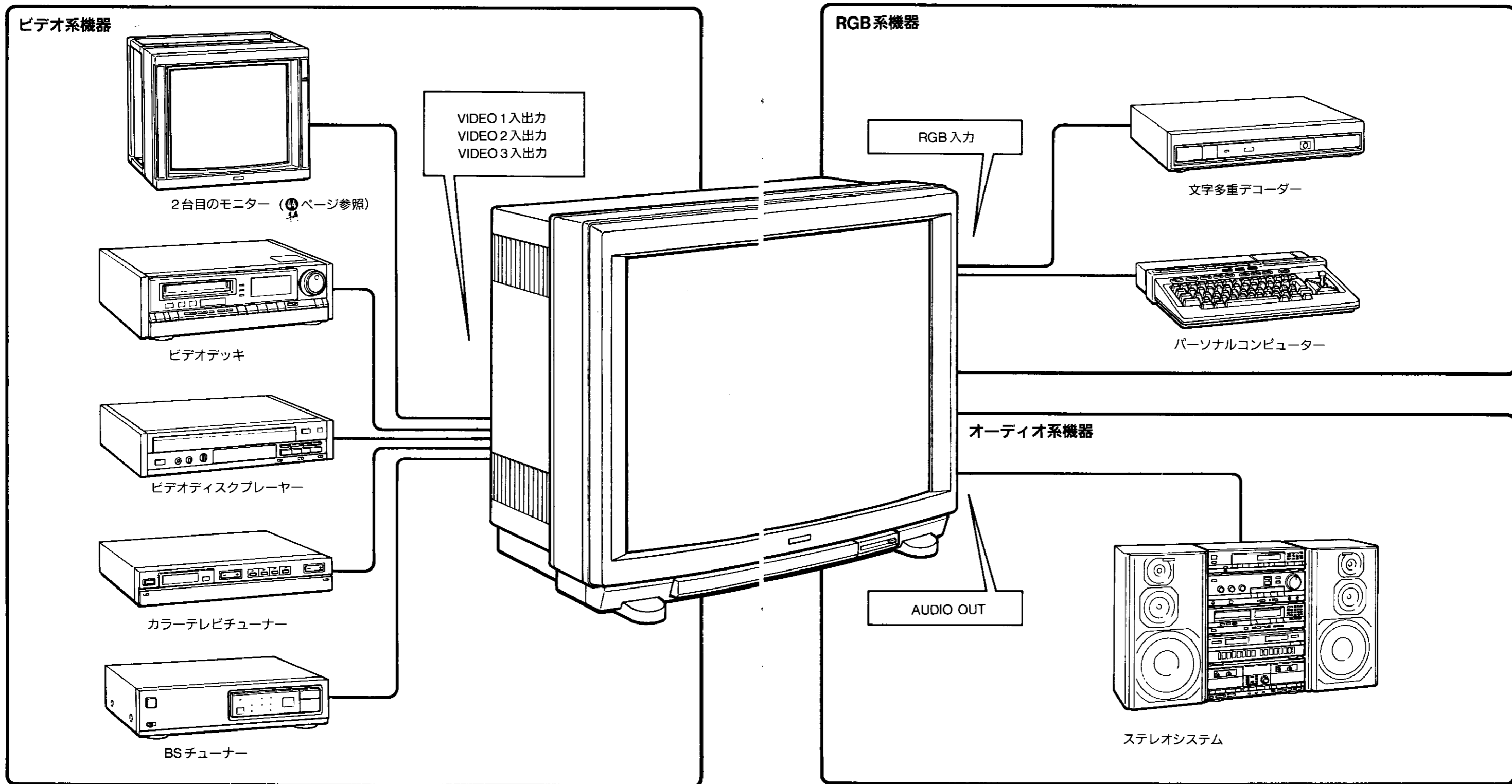
- インピーダンスが8~16Ωのものをお使いください。
- スピーカーの説明書も併せてご覧ください。
- 磁気シールドされていないスピーカーをお使いになるときはモニターに密着させておくと、磁力の影響で色ムラが起ることがあります。この場合は、スピーカーをモニターから離してお使いください。色ムラが残っている場合には、モニターの電源スイッチを一度切り、約15分以上経過後再び入れてください。



### 接続上のご注意

- 電源を切ってから行います。
- プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は雑音などの原因になります。
- プラグを抜くときは、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜きとってください。
- 各端子にそれぞれの機器をつないだ場合、お互いの干渉を防ぐために、お使いにならない機器の電源スイッチを切っておいてください。

### システムアップ組み合わせ例



次ページの接続早見表をご覧ください。

接続早見表

	使いかた	接続する機器	モニター側の端子	接続ケーブル (次ページ参照)
ビデオ系	テレビ番組を見る	カラーテレビチューナー チューナー付き ビデオデッキ	ビデオ入力	[A] + [B] または [C] [A] + [B] + [G] (S映像出力端子付きビデオデッキの場合)
	テレビ番組を見る	ビデオデッキ		[A] + [B] または [C]
	見ている画像を録画する	チューナータイマー ユニットと	ビデオ入力	[A] + [B] + [G] (S映像出力端子付きビデオデッキの場合)
	ビデオを再生する	ポータブルデッキ		
	ビデオディスクを見る	ビデオディスク プレーヤー	ビデオ入力	[A] + [B] または [C]
	衛星放送を見る	BSチューナー	ビデオ入力	[A] + [B] または [C]
文字やカラーグラフィックを見る	パーソナル コンピューター	ビデオ入力	[A] + [D]	
RGB系	文字多重放送を見る	文字多重デコーダー	RGB入力	[E]
	キャプテンシステムの画像を見る	キャプテンデコーダー	RGB入力	[E]
	テレビ会議システムなどで送られてくる画像を見る	ビジュアルコミュニケーションユニット	倍速RGB入力	
オーディオ系	テレビ、ビデオなどの音をステレオで聞いたり録音したりする	オーディオシステムのステレオアンプ	音声出力	[B]

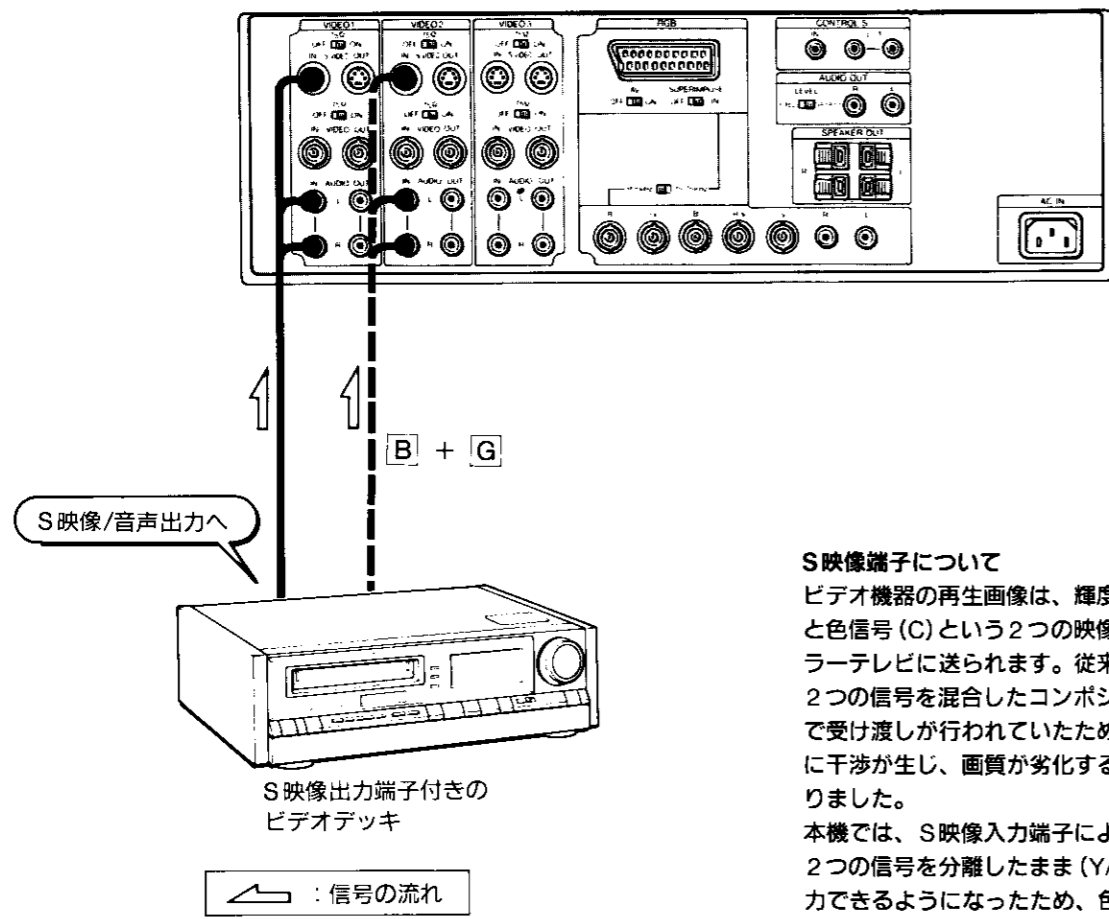
接続ケーブル

A	VMC-1S -3S	1.2m	
		3m	
B	RK-C74 音声用	1.5m	
C	VMC-810S -820S	1m	
		2m	
D	RK-C72 -C71	1m	
		3m	
E	VMC-2121	1.5m	
F	RK-G69 -G34	1m	
		3m	
G	YC-15V -30V	1.5m	
		3m	
H	HBK-0821 II	3m	

[A]、[C]のようなピンケーブルをビデオ1, 2, 3映像入出力端子のようなBNC端子につなぐときは、付属のBNC変換コネクタを使用してください。



S映像出力端子付きのビデオデッキやビデオディスクプレーヤーをつなぐ

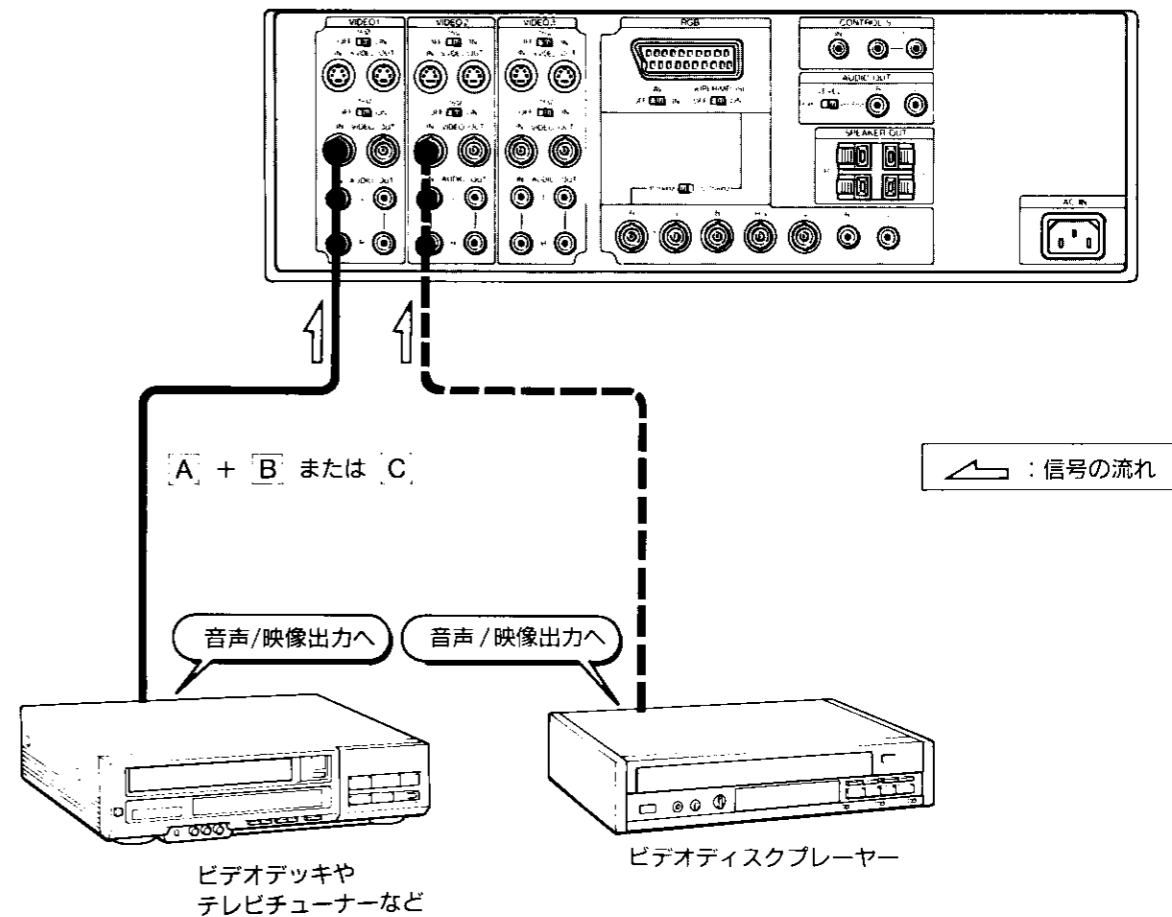


S映像端子について

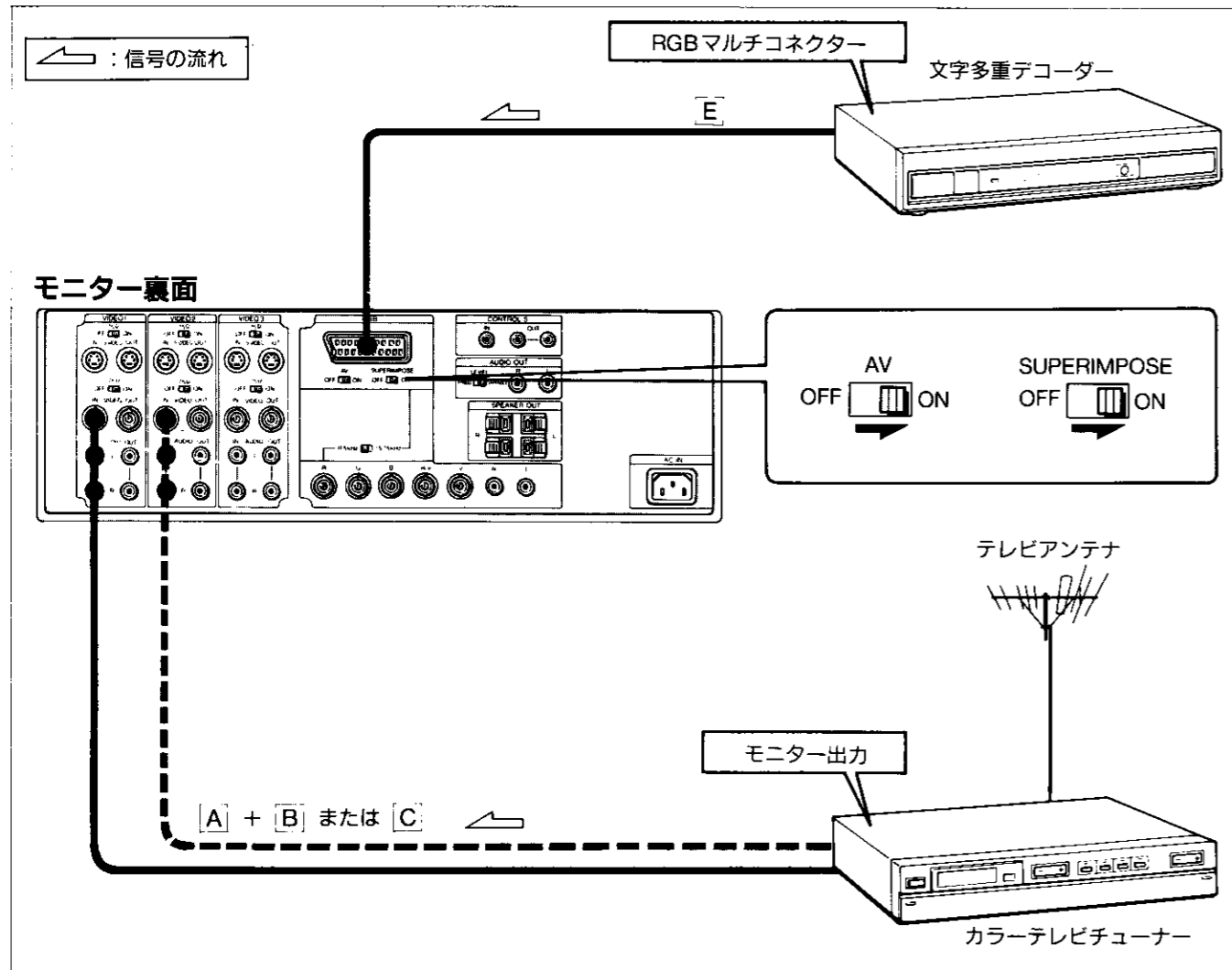
ビデオ機器の再生画像は、輝度信号 (Y) と色信号 (C) という2つの映像信号でカラーテレビに送られます。従来は、この2つの信号を混合したコンポジット信号で受け渡しが行われていたため、信号間に干渉が生じ、画質が劣化することがありました。

本機では、S映像入力端子により、この2つの信号を分離したまま (Y/C分離) 入力できるようになったため、色のにじみやちらつきの少ない鮮明な映像が再現できるようになりました。

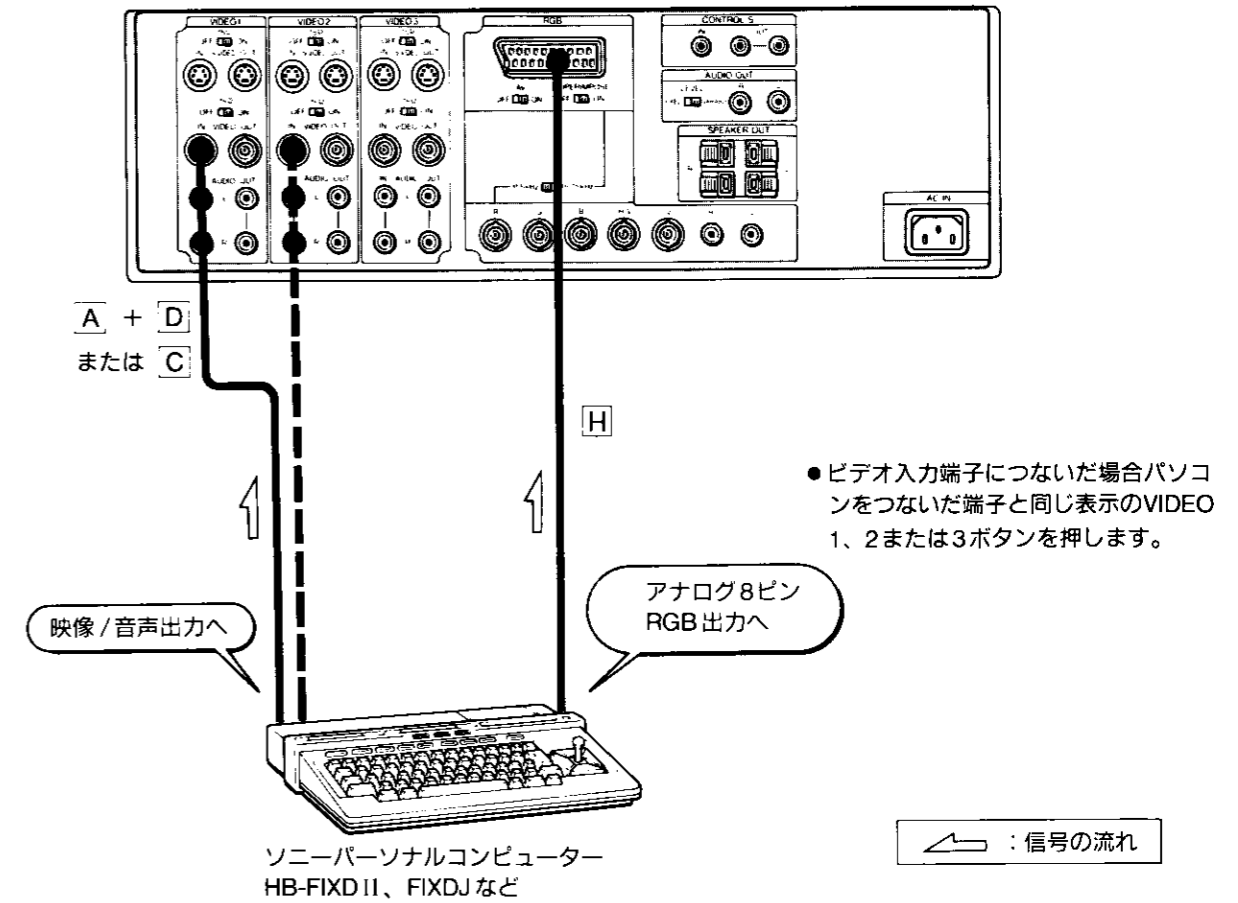
S映像出力端子をもたないビデオデッキやビデオディスクプレーヤーやテレビチューナーをつなぐ



## 文字放送を見るには



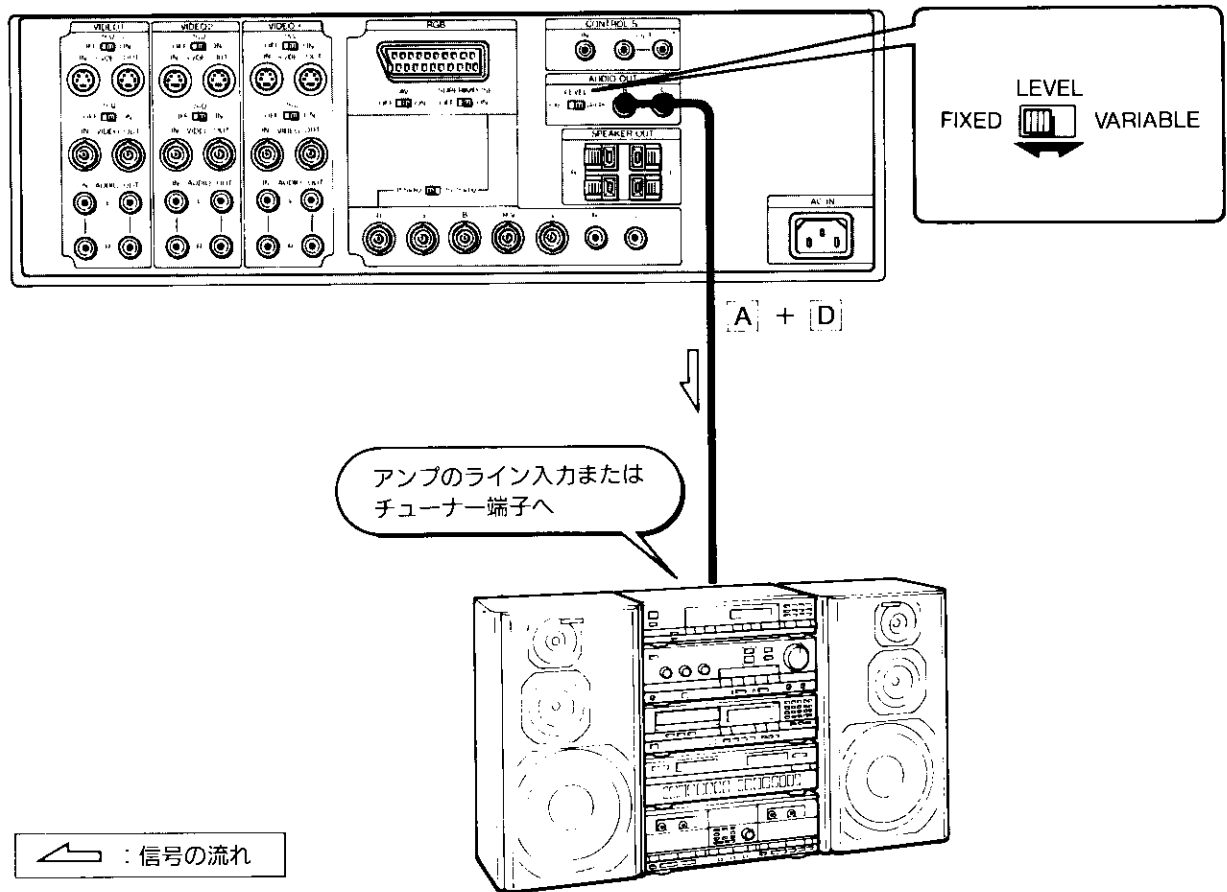
## パソコンをつなぐ



### ■パソコン接続時のご注意

- 水平同期周波数が標準から大幅にずれているパソコンを接続した場合、画像が見つらなくなることがあります。
- パソコンにノンインターレースモードの入/切スイッチがある場合は「入」にしてください。
- RGB入力端子に接続するパソコン等で種類や画の内容によっては見にくいことがありますが、故障ではありません。

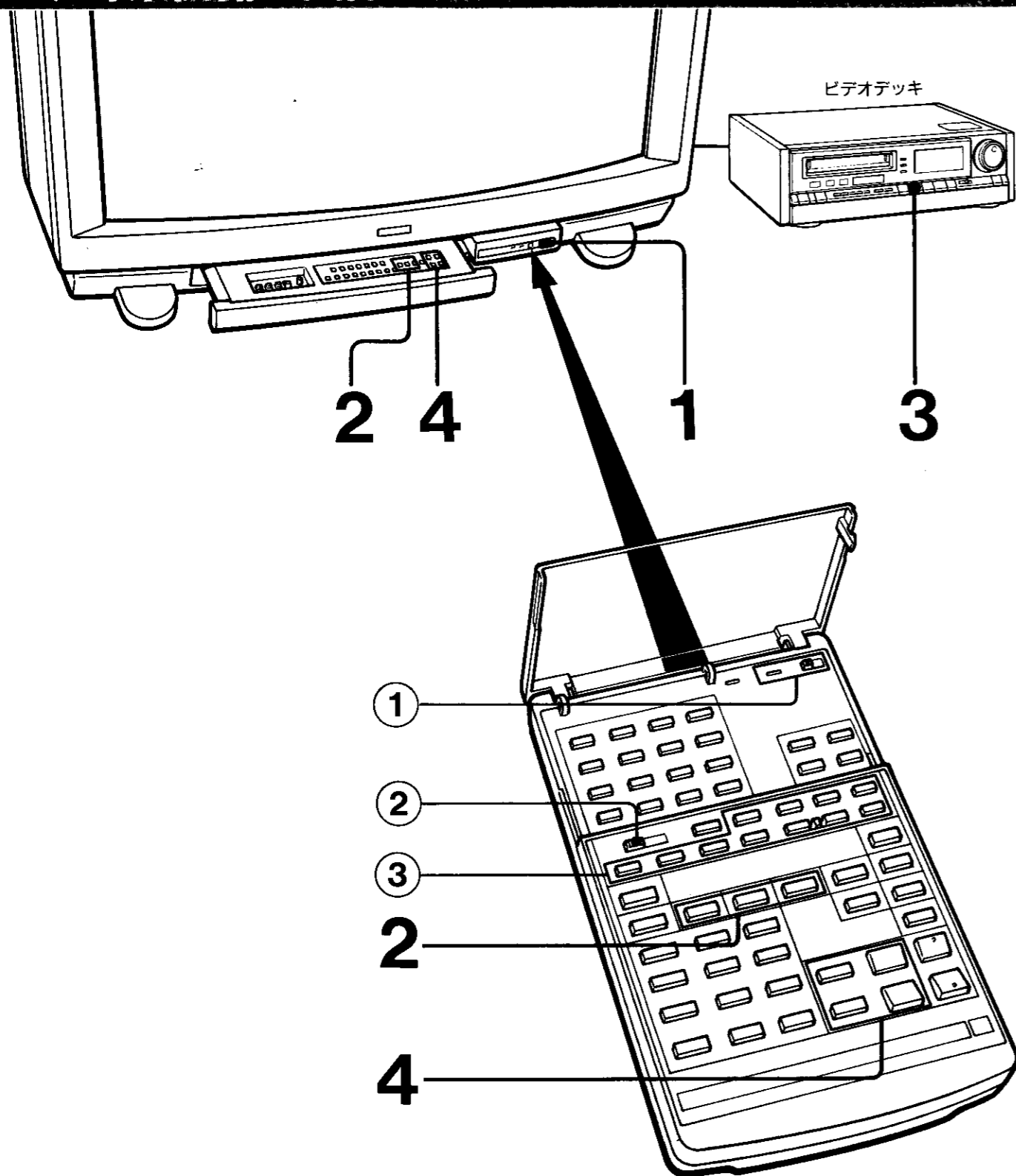
オーディオ機器をつなぐ(ステレオシステムで音を聞く場合。)



**1** モニターのAUDIO OUT端子に、ステレオアンプなどをつなぐ。

**2** 音声レベル切り換えスイッチをお好みに応じて切り換える。  
テレビまたはリモコンで音量、音質を変えるには → VARIABLE に  
音量または音質を一定にするには → FIXED に  
音量の可変範囲はステレオアンプ側の音量つまみの位置で決まります。

# ビデオ系機器の画像を見るには



- 1 POWERスイッチを押し込む。
- 2 VIDEO 1、2または3ボタンを押して、入力した信号を選ぶ。
- 3 接続した機器を再生状態にする。
- 4 お好みの音量と画像に調節する。  
さらに細かい画像の調節は ⑫～⑬ ページをご覧ください。

## 付属のリモコンを使って接続したビデオ機器を操作するには

ソニーのベータ、8ミリ、VHSの方式のビデオデッキ、およびビデオディスクプレーヤー（マルチディスクプレーヤーを含む）の基本的な操作はこのリモコンでできます。この場合、それぞれのリモコンの動きを覚えさせる必要はありません。また他社のビデオ機器の操作を覚えさせることもできます。（⑫ページ）

- ① LEARN-USEスイッチをUSE側にする。
- ② 操作したいビデオ機器に合わせる。
- ③ ビデオ機器を操作する。  
接続したビデオ機器に合わせて、リモコンのVTR 1, 2, 3/MDP切り換えスイッチを切り換えます。

ベータマックスビデオを見る時	VTR 1
8ミリビデオを見る時	-2
VHSビデオを見る時	-3
ビデオディスクプレーヤーを見る時	MDP

### ビデオデッキを操作するには

- 電源を入れるには POWERボタンを押す。  
再生するには ▶ボタンを押す。  
再生を止めるには ■ボタンを押す。  
早送りするには ▶▶/▶▶ ボタンを押す。  
巻き戻しするには ◀◀/◀◀ ボタンを押す。  
画像を止めて見るには ||ボタンを押す。元の再生に戻すには、もう一度押す。  
画像を見ながら早送り、巻き戻しをするには [早送り] 再生中に ▶▶/▶▶ ボタンを押す。  
(ピクチャーサーチ) [巻き戻し] 再生中に ◀◀/◀◀ ボタンを押す。  
コマ送りするには 再生中に ||▶ボタンを押す。  
録画するには ●とその右隣りのボタンを押す。

### ビデオディスクプレーヤーを操作するには

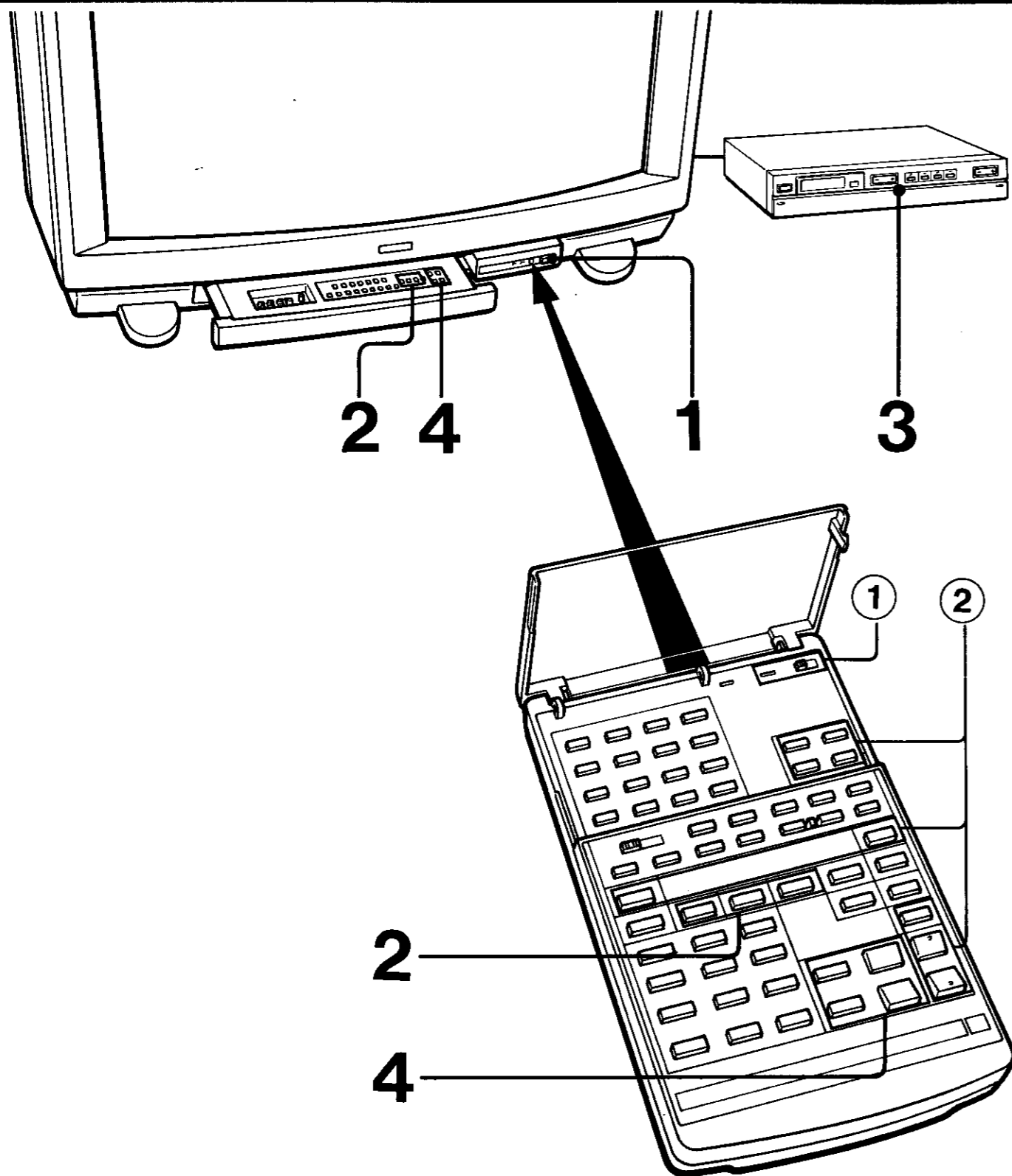
- 電源を入れるには POWERボタンを押す。  
再生するには ▶ボタンを押す。  
再生を止めるには ■ボタンを押す。  
一時停止するには ||ボタンを押す。  
画像を見ながら早送り、早戻しするには [早送り] 再生中に ▶▶/▶▶ ボタンを押し続ける。  
[早戻し] 再生中に ◀◀/◀◀ ボタンを押し続ける。  
手を離すと、元の再生に戻ります。  
コマ送りするには 再生中に ||▶ボタンを押す。

#### ご注意

●VTR1～3とMDPの切り換えスイッチについて  
機器によっては本体側に切り換えスイッチがついているものもあります。この時は本体側と同じ位置に合わせてください。

●このリモコン上のボタンの機能がない機器は操作できません。  
また機器によっては操作できないボタンもあります。

# テレビを見るには



## テレビを見るには

- 1 POWERスイッチを押し込む。
- 2 接続したVIDEO 1、2または3ボタンを押して、入力した信号を選ぶ。
- 3 接続したカラーテレビチューナーの電源を入れ、お好みのチャンネルを選ぶ。
- 4 お好みの音量と画像にする。

## 付属のリモコンを使ってテレビ画面を操作するには

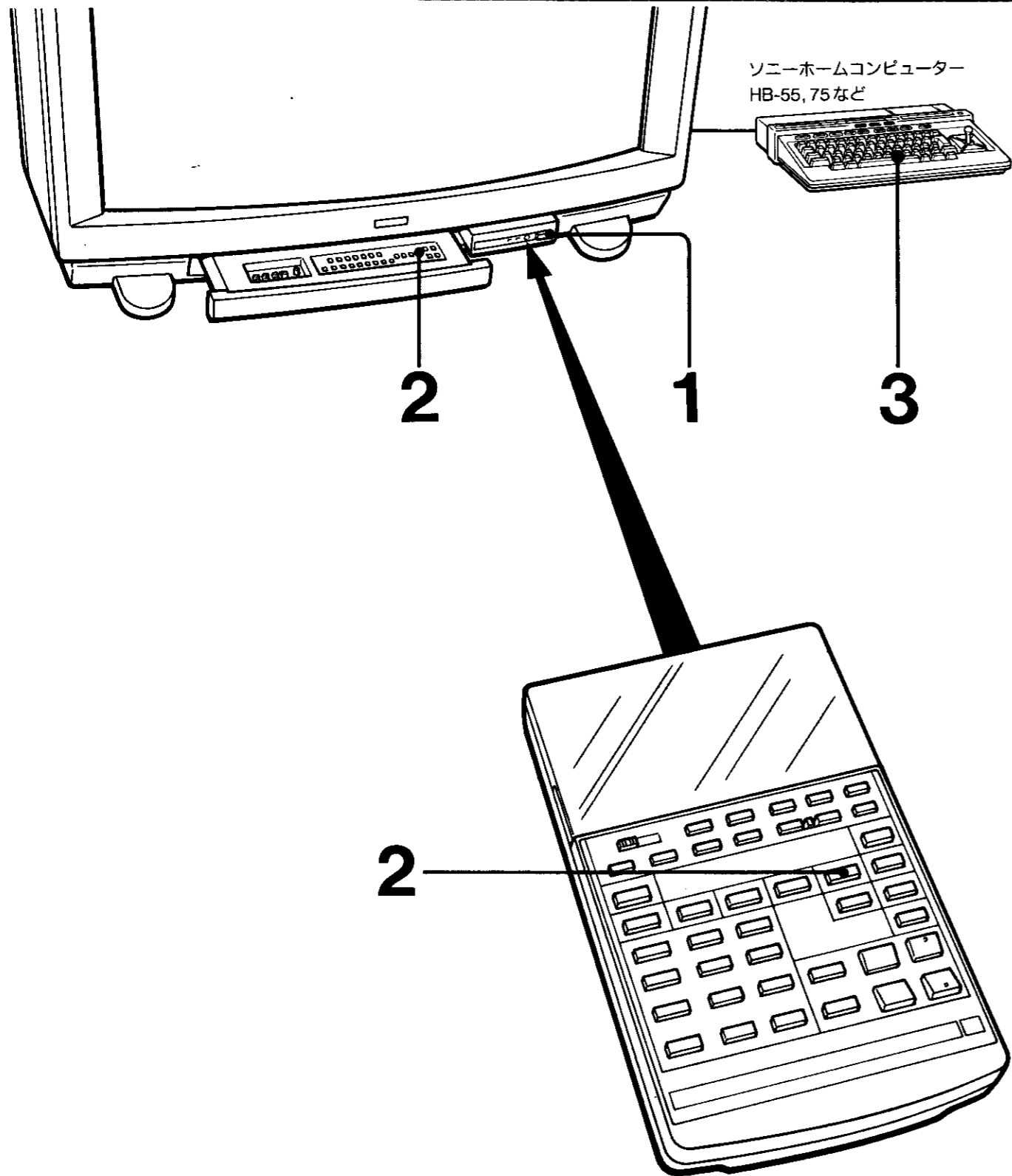
ソニーのテレビ、カラーテレビチューナーの基本的な操作はこのリモコンでできます。この場合、それぞれのリモコンの働きを覚えさせる必要はありません。またソニー以外のテレビ、カラーテレビチューナーの操作を覚えさせることもできます。

- ① LEARN-USEスイッチをUSE側にする。
- ② テレビ画面を操作する。

### テレビ画面を操作するには

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 電源を入れるには           | POWERボタンを押す。   |
| チャンネルを選ぶには         | 数字ボタン、またはCH+/−ボタンを押す。  |
| 音を消すには             | MUTINGボタンを押す。  |
| ビデオ画面にするには         | TV/VIDEOボタンを押す。  |
| テレビ画面を調整するには       | SELECTボタンを押して調整したい項目を選び、+/-ボタンで調整する。<br>標準状態に戻すには、RESETボタンを押す。 |
| 二重音声放送で聞きたい音声を選ぶには | DUALボタンを押し、主音声/副音声を切り換えます。                                     |
| 画面にチャンネル表示を出すには    | CH DISPLAYボタンを押す。  |

# RGB系機器の画像を見るには



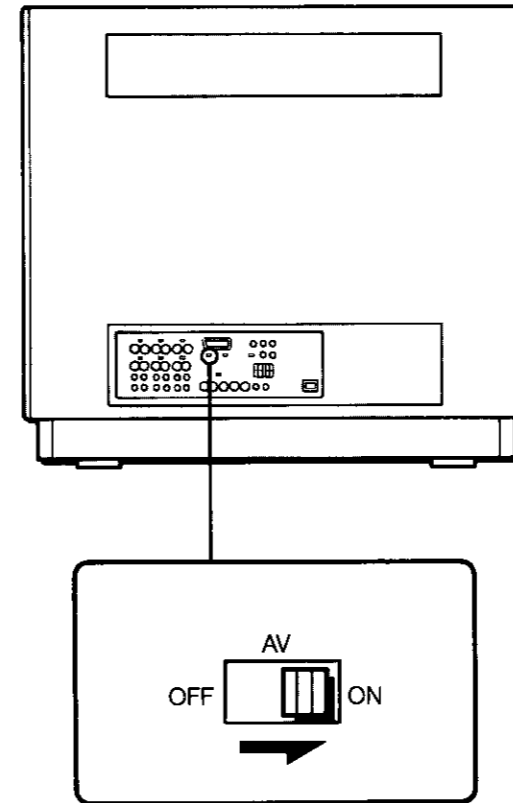
ソニーホームコンピューター  
HB-55, 75 など

## 操作する前に

- 裏面のSUPERIMPOSEスイッチ → 「ON」に  
AVコントロールスイッチ → 「ON」に
- 1 POWERスイッチを押し込む。
  - 2 RGBボタンを押す。
  - 3 接続した機器を操作して画像を出力させる。

音量を調節するには  
VOLUME +/- ボタンを押す。  
画像と音声の調節について  
⑭ - ⑯ ページをご覧ください。  
RGBを選んだ時は、RGB入力からの音声を聞くことができます。  
つなく機器によっては、ビデオ入力からの音声も聞くことができます。

## AVコントロールスイッチの使いかた



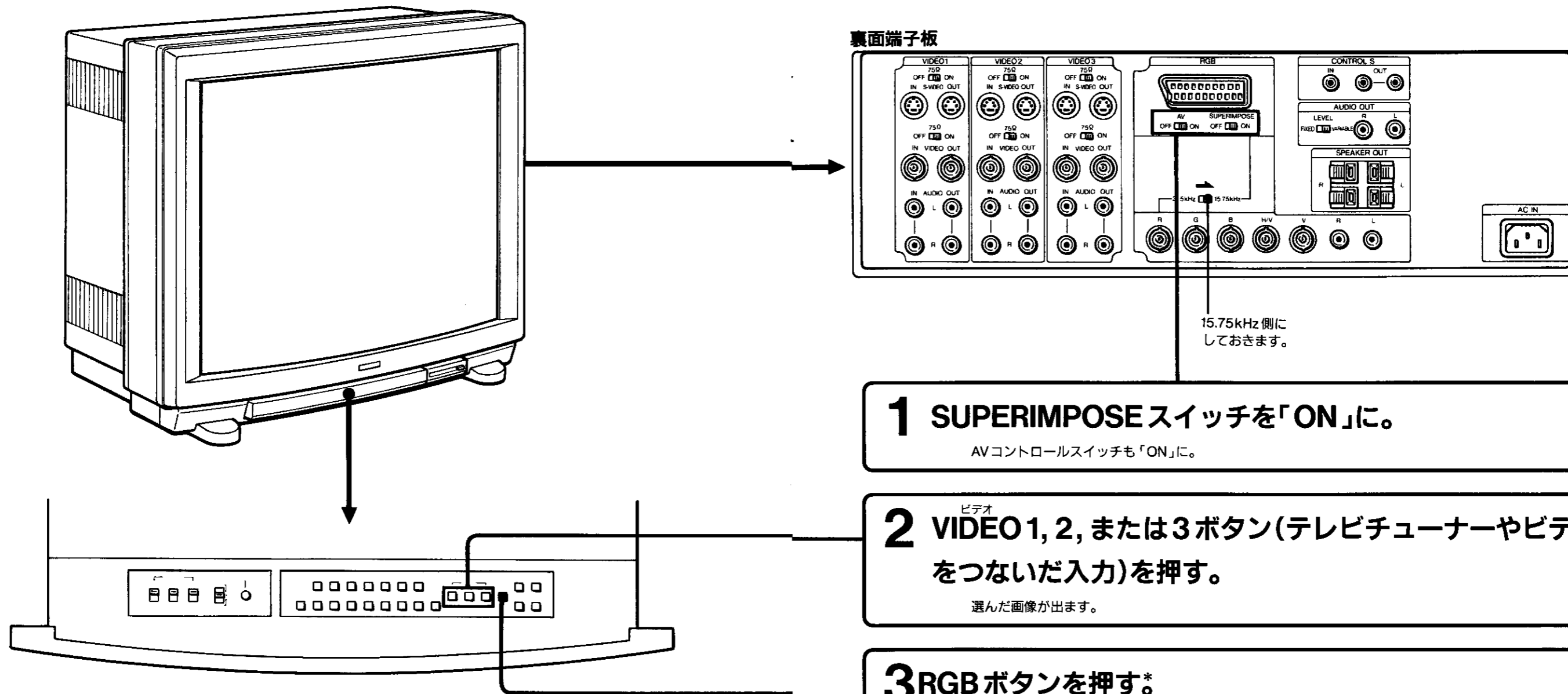
ふだんは「ON」にしておきます。  
RGB入力端子につないだAVコントロール機能を持つパソコンや文字多重デコーダーなどの電源を入れると、モニターは自動的にRGBモードに切り換わります。(倍速RGBを選んでいる時は切り換わりません。)  
自動的にRGBモードになったときは、モニター本体またはリモコンのVIDEO 1、2、3ボタンではビデオモードに戻れません。入力を切り換えるには、AVコントロールスイッチを「OFF」にします。

### これは便利

パソコン側を操作せずに入力切り換えができます。  
AVコントロールスイッチが「ON」の状態、AVコントロール機能を持つパソコンなどを動作させたまま一時的にビデオモードに切り換えるにはAVコントロールスイッチを「OFF」にします。  
RGBコネクターをはずしたり、パソコンの電源を切らなくてもビデオモードへの切り換えができます。  
AVコントロールを「OFF」にしたままにするとパソコンなどに連動してRGBモードへの切り換えができませんので、ビデオなどを使い終わったら「ON」にしておきます。

テレビやビデオなどの画像とパソコンの画像を重ねて見るには

RGB入力端子につないだパソコンにスーパーインポーズ(2つの画像を重ねる)機能がある場合のみ操作できます。



**1 SUPERIMPOSEスイッチを「ON」に。**  
AVコントロールスイッチも「ON」に。

**2** <sup>ビデオ</sup>VIDEO 1, 2, または 3 ボタン(テレビチューナーやビデオをつないだ入力)を押す。  
選んだ画像が出ます。

**3 RGB ボタンを押す\***  
パソコンの画像が重なって出ます。

\* AVコントロールスイッチが「ON」の場合は、AVコントロール機能を持つ機器を操作すると自動的にRGBモードになります。

**SUPERIMPOSEスイッチの「OFF」について**

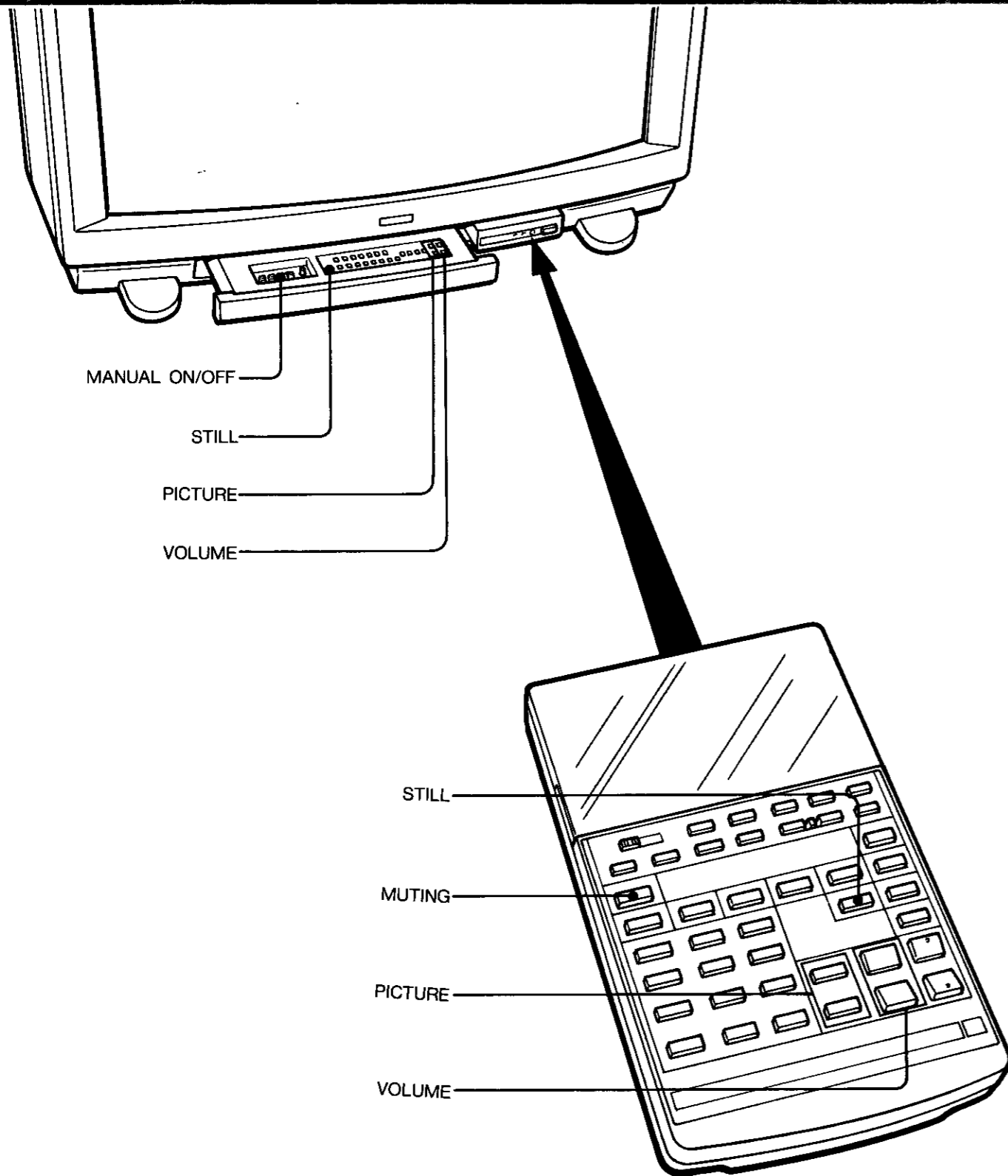
ソニーのマイクロコンピュータSMC-70GなどのアナログRGB出力(R, G, B端子)と、同期出力(SYNC端子)だけをモニターのRGB入力端子につないで、Ys出力を使わずにRGBの画像を見る時は、

SUPERIMPOSEスイッチを「OFF」にします。「ON」の位置では正常な画像が出ませんのでご注意ください。

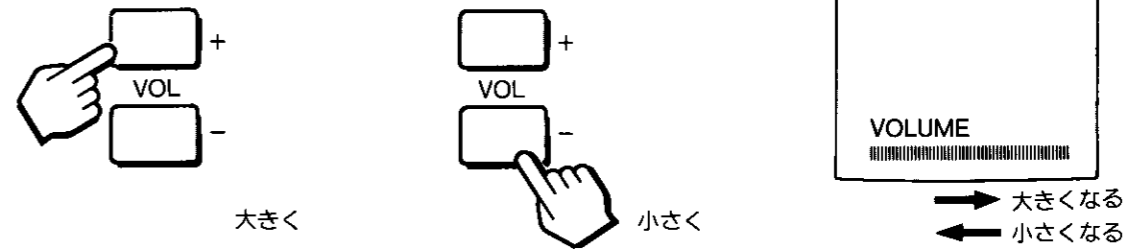
**パソコン接続時のご注意**

- 水平同期周波数が標準から大幅にずれているパソコンを接続した場合、画像が見づらくなることがあります。
- パソコンにノンインターレースモードの入/切スイッチがある場合は「入」にしてください。
- RGBマルチ21ピンに接続するパソコン等で種類や画の内容によっては見にくいことがありますが、故障ではありません。

- RGB入力の映像/同期出力からは、S映像入力の信号は出力されません。S映像入力の画像とのスーパーインポーズはできません。



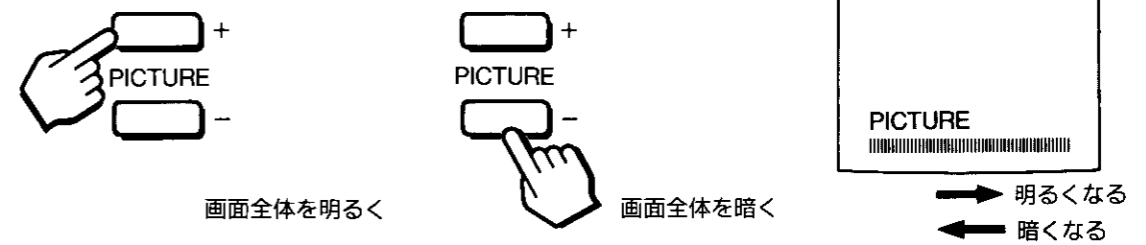
音量を調節するには



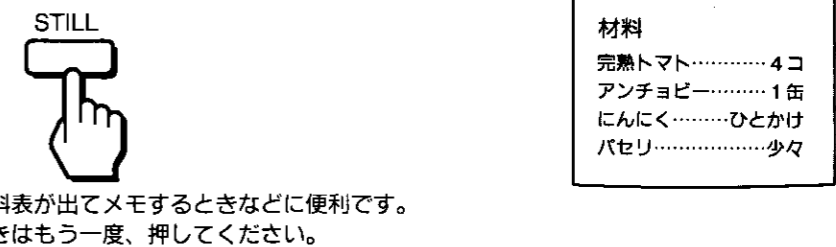
音量を消すには—ミュート機能



画面全体の明るさを調節するには

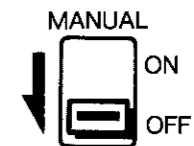


静止面を見るには—スチル機能



一旦音量や音質、画質などを設定した状態のままにしておくには

MANUAL ON/OFF スイッチを OFF にします。  
前面すべてのコントロールボタンが動かなくなります。  
展示会や店頭ディスプレイなどに便利です。



本体の POWER スイッチが押し込まれているときは  
リモコンでモニターをつけたり消したりできます。リモコンでモニター  
を消すと、STANDBY ランプが付き、この状態をスタンバイと呼びます。

外出するときや、おやすみになるときは  
本体の POWER スイッチを押して電源を切ってください。

30 スチル機能について  
● 静止面を見ているときに VIDEO ボタンを押したり電源を切つてま

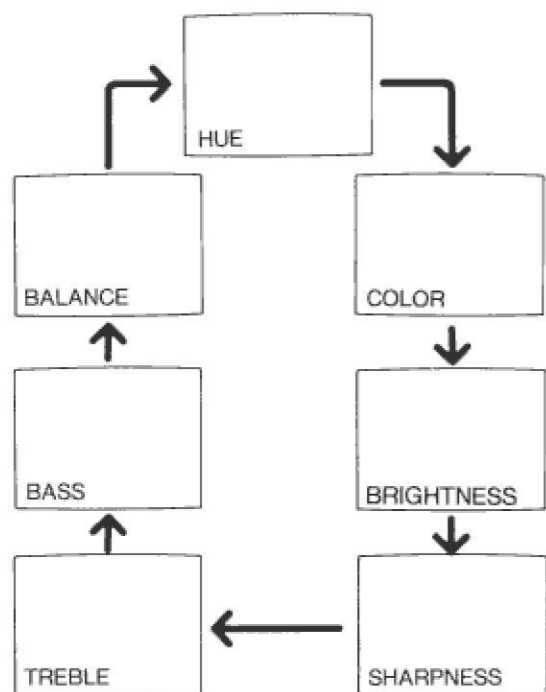
た入れたりすると静止画は映りません。  
● 画像は止まりますが、音声はそのまま流れます。

ご注意  
● 電源を入れて画像が出てから数秒間、色が変化する場合があります  
が、オートカットオフ回路が動作しているためです。故障ではあ  
りません。



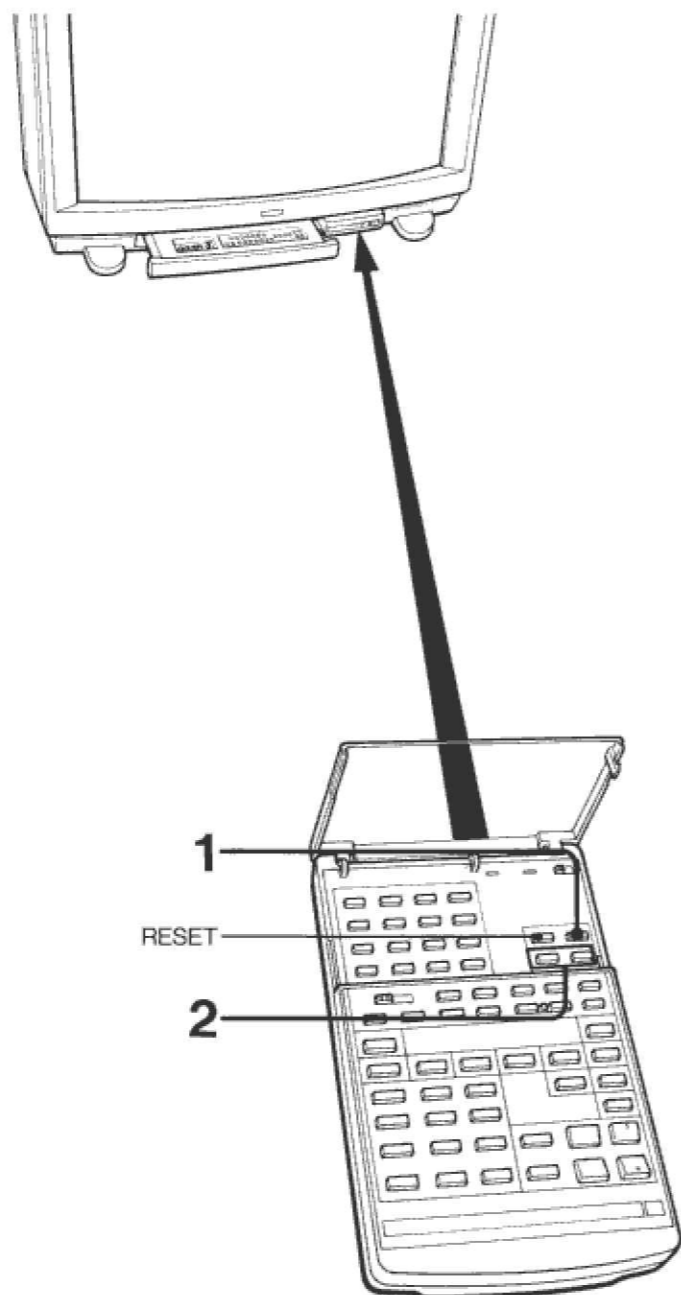
付属のリモコンで調節するには

- 1 SELECT ボタンを押して調節したい項目を画面に出す。  
押すごとに、順に変わります。



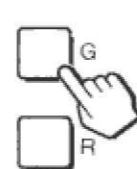
- 2 +(R)/-(L) ボタンを押して、画像を調節する。

調節しているときに出る画面上の表示は、本体で調節するときと同様です。

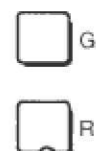


本体で調節するには

色あい (HUE)\*

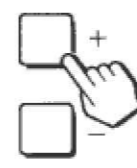


緑がかる →



← 紫がかる

色の濃さ (COLOR)\*



濃くなる →



← うすくなる

明るさ (BRIGHTNESS)



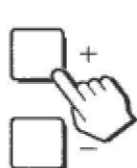
明るくなる →



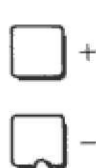
← 暗くなる

シャープネス (SHARPNESS)\*

画像のりんかく



くっきりした画像に →



← 柔らかな画像に

\*印のボタンは倍速RGB入力からの画像には働きません。

標準状態に戻すときは

RESET ボタンを押します。すべての項目が標準状態に戻ります。

本体で調節するには

**高音 (TREBLE)**

TREBLE

強くなる →

弱くなる ←

**低音 (BASS)**

BASS

強くなる →

弱くなる ←

**バランス (BALANCE)**

BALANCE

左スピーカーの音が大きくなる ←

右スピーカーの音が大きくなる →

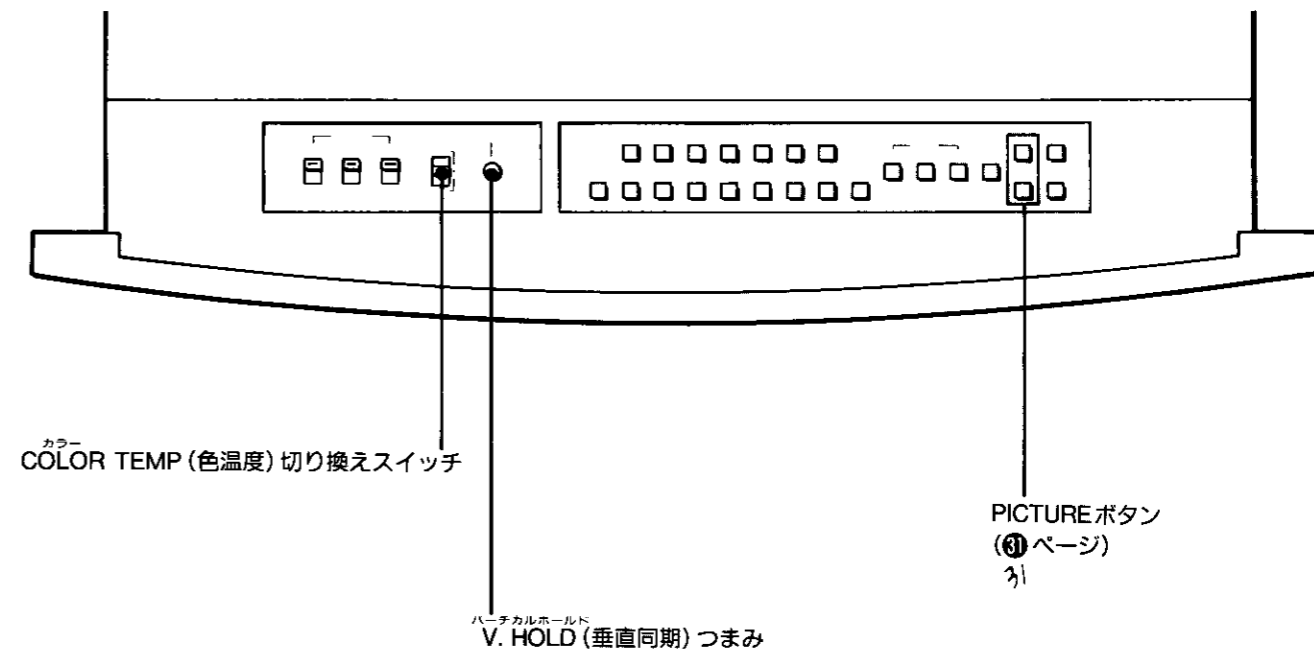
**標準 (RESET)\***

RESET

\*印のボタンは倍速RGB入力からの画像には働きません。

一度調整した画質や音質は調整し直すまで記憶されています。  
VIDEO1, 2, 3それぞれの入力ごとに調整した内容が記憶されています。

コントロールつまみでの調整



画像が上下に分かれたり、流れたりするときは\*

V HOLDつまみで画面を安定させます。



色温度を調節するには\*

COLOR TEMP切り換えスイッチで調節します。

位置	
NEW DYNAMIC COLOR	青味がかった白色に。
NORMAL	通常の色に。
LOW	赤味がかった色に。

\*印の機能は倍速RGB入力からの画像には働きません。

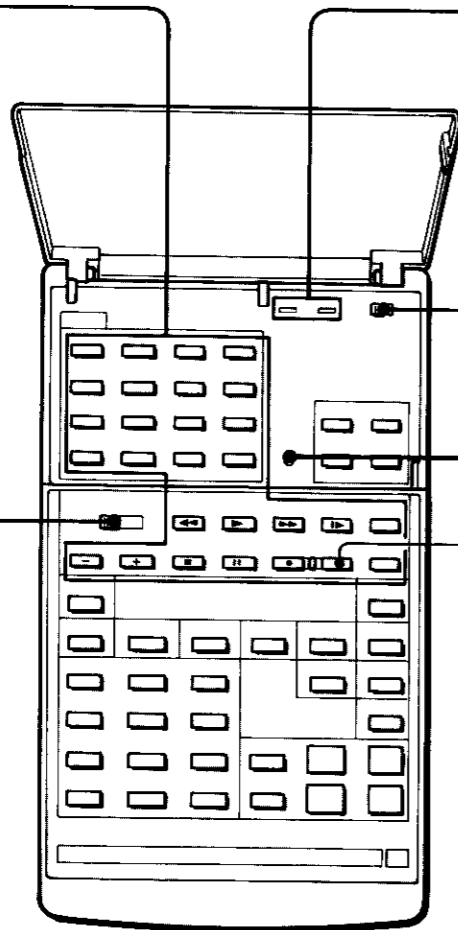
# プログラマブルコマンダーの使いかた

付属のリモコンRM-572で、このモニターの他に、リモコン操作可能なソニーのビデオ機器、テレビ、カラーテレビチューナーなどが操作できます。また、他のリモコンの機能を覚えさせる（学習させる）ことにより、ソニーのオーディオ機器はもちろん、他社製のビデオ機器、テレビ、カラーテレビチューナー、オーディオ機器などを操作することもできます。この学習機能により、ご家庭の様々なAV機器を、このリモコン1本で操作することができます。

## 学習機能で使うボタン、スイッチ、ランプ

### 覚えさせることのできる範囲 (学習エリア)

この範囲であれば、どのボタンにでも、機能を覚えさせることができます。ただし、●(録画)ボタンの右隣のボタンには学習させることができません。



### READY-LEARN ランプ

READY: LEARN-USE スイッチを LEARN 側になると点灯します。  
LEARN: 学習が完了すると点灯します。

### LEARN-USE スイッチ

通常はUSE 側にしておきます。学習させるとき LEARN 側にします。

### LEARN CLEAR ボタン

このボタンには学習させることができません。

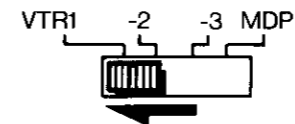
### 切り換えスイッチ

このスイッチの切り換えによって、4種類までの機器の基本的なリモコン操作が可能になります。

## 他社のビデオ機器、テレビチューナー、オーディオ機器またはソニーのオーディオ機器を操作するには

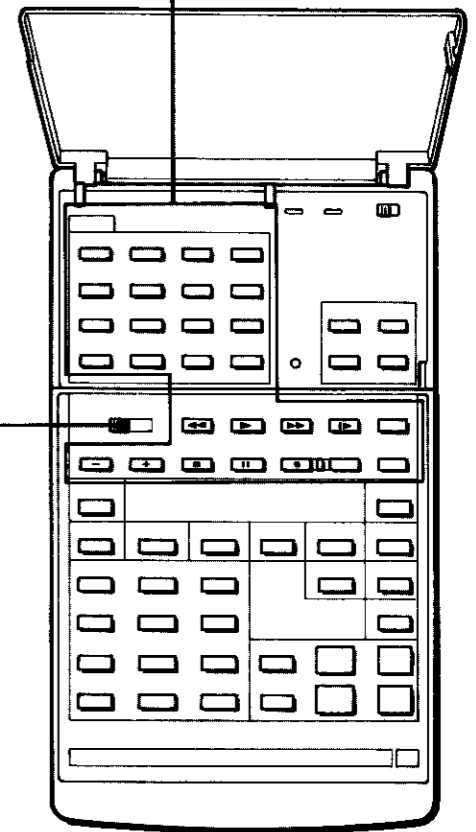
このリモコンの表示の機能とは関係なく、図に示される範囲内のボタンに他社のビデオ機器、テレビチューナー、オーディオ機器またはソニーのオーディオ機器の機能を覚えさせることができます。

### 学習エリア 覚えさせることのできる範囲



このスイッチの切り換えによって、ひとつのボタンに最大4種類の機能を覚えさせることができます。

- ・学習させるときのスイッチの位置は、お手持ちのソニーの機器を操作するときに使わない位置を選ぶと便利です。
- ・同じ機能のボタンどうし（例 ■ボタンにはSTOP、▶ボタンには再生）で覚えさせると便利です。



### ご注意

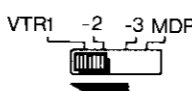
学習エリアに新たに何も覚えさせていない状態では、ソニーのビデオ機器が操作できますが、この上から新しく他の機能を覚えさせると、もとのソニーの機器は操作できなくなります。覚えさせた機能を消去すると(40ページ)元に戻ります。

40


学習のしかた

例：切り換えスイッチをVTR1の位置にしたときにX社のビデオデッキを操作できるようにする。

**1** 切り換えスイッチをVTR1にする。



**2** LEARN-USEスイッチをLEARN側にする。

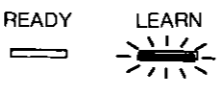


**3** 両方のリモコンを向い合わせる。

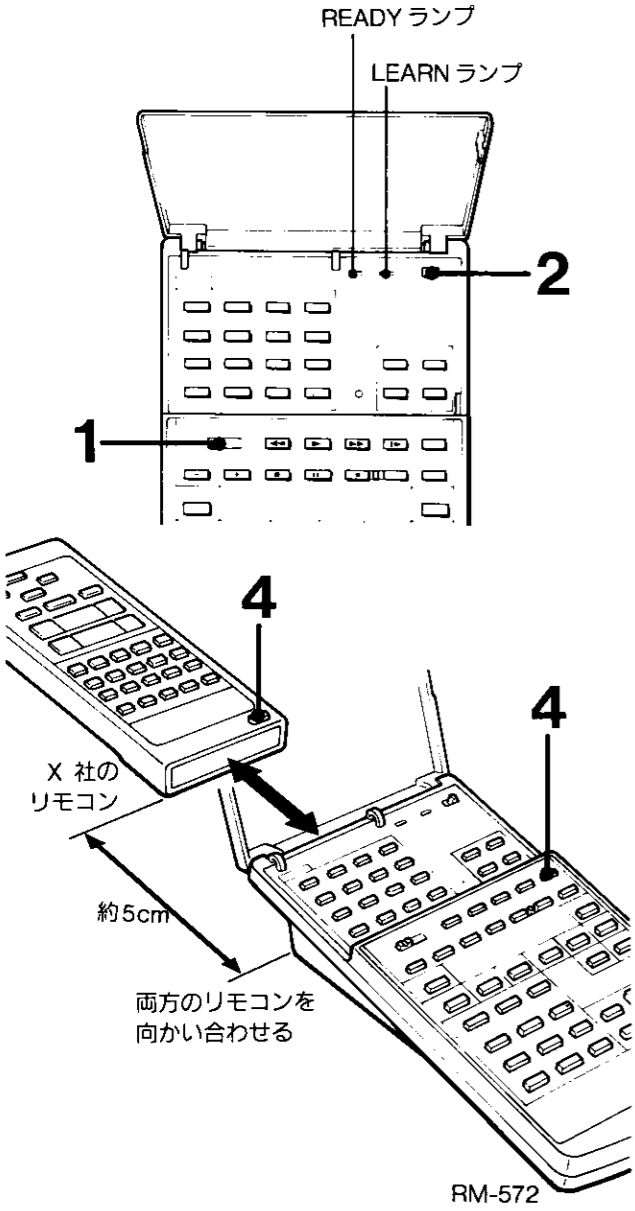
どの機能をどのボタンに覚えさせるか決めます。  
例としてX社のリモコンの電源ボタンをRM-572のPOWERボタンに覚えさせてみましょう。(RM-572でX社のビデオデッキの電源を入れられるようにする。)

**4** RM-572の電源ボタンを押しながらX社のリモコンの電源ボタンを押し続ける。

**5** LEARNランプが点灯したら両方のボタンから指を離す。



これでX社のリモコンの電源ボタンの機能をRM-572のPOWERボタンに覚えさせました。以上の手順で必要な機能のボタンをひとつずつ覚えさせていきます。



上手に学習させるには

- 2つのリモコンを机の上などに置き、まっすぐに向き合わせる。
- 5cmくらい離す。
- 覚えさせる間、動かさない。

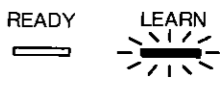
ご注意

- 覚えられなかったときはREADYランプとLEARNランプが両方とも消灯します。この場合は再度3からやり直してください。
- 学習エリア以外のボタンを押すとREADYランプが点滅します。
- 1つのボタンには最大4つの機能が学習できます。

次にX社のリモコンの再生ボタンの機能をRM-572の1ボタンに覚えさせてみましょう。(RM-572の1ボタンを押すと、X社のビデオの再生が始まるようにする。)

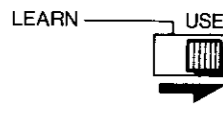
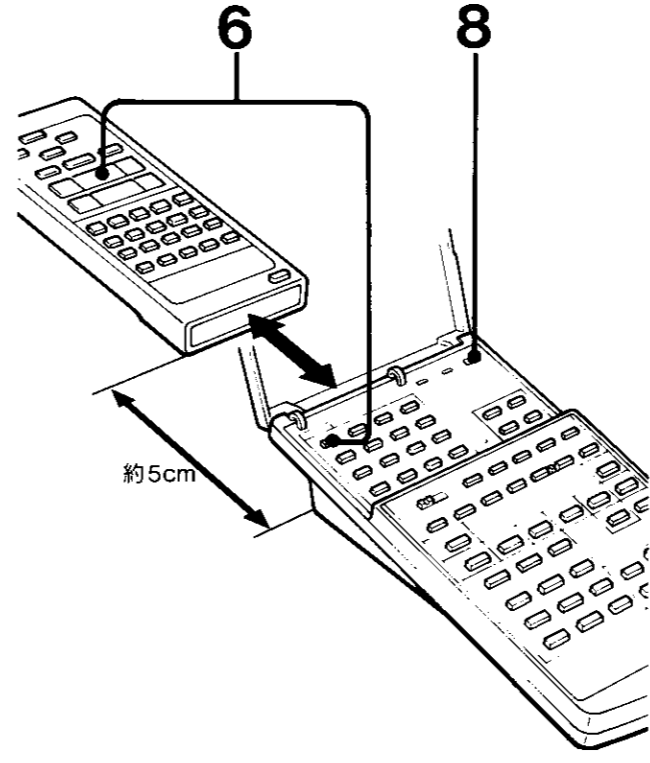
**6** RM-572の1ボタンを押しながらX社のリモコンの再生ボタンを押し続ける。

**7** LEARNランプが点灯したら両方のボタンから指を離す。



これでX社のリモコンの再生ボタンの機能をRM-572の1ボタンに覚えさせました。

**8** 必要な機能を覚えさせたら、LEARN-USEスイッチをUSE側にする。

ご注意

- 切り換えスイッチをVTR1の位置にして覚えさせたときは操作するときも、VTR1の位置にして、LEARN-USEスイッチはUSE側にしてください。
- 切り換えスイッチをVTR2、VTR3、MDPの位置に切り換えれば、同様の操作でその他の機器の機能を覚えさせることができます。どのボタンにどの機能を覚えさせたかをリモコンに付属のグレーのシートに書いておくと便利です。
- リモコンの電池は早めに交換してください。電池の寿命は通常のご使用で約6ヶ月です。電池の交換は30分以内に行なってください。30分以上電池を出したままにしておくと、お客様が覚えさせた記憶が消えてしまいます。
- ビデオ、オーディオ機器以外の操作には使わないでください。
- 赤外線方式のリモコンの機能はほとんど学習させることができますが、超音波を使用したリモコンや特殊なリモコンの機能は学習させることができません。

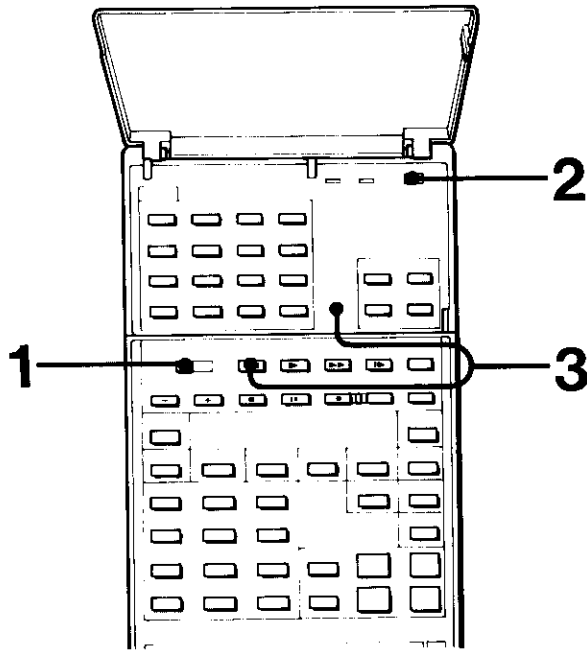
次のような場合はリモコンの学習機能が働きませんのでご注意ください。

- 近くにノイズを発生している蛍光灯や赤外線機器がある。  
→ リモコンを2つともノイズ発生源から遠ざけてください。
- 乾電池が消耗している  
→ 4本とも新しい乾電池と交換してください。
- 他のリモコンの信号の送信部とRM-572の受光部の間に障害があったり方向がずれたりしている。  
→ 2~3個の機能しか記憶できなくなりますので、正しい位置で操作してください。

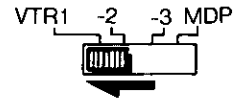
# プログラマブルコマンダーの使いかた

覚えさせた機能を消すには一切り換えスイッチの位置ごとに消すことができます。

例 VTR1の位置にして覚えさせた機能を消す。



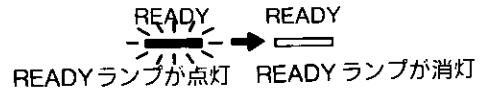
**1** 切り換えスイッチをVTR1にする。



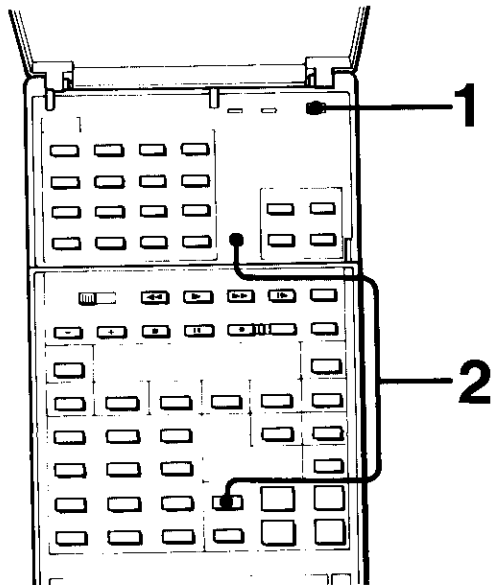
**2** LEARN USEスイッチをLEARN側にする。



**3** LEARN CLEARボタンをシャープペンシルの先などで押しながら◀◀ボタンを押す。



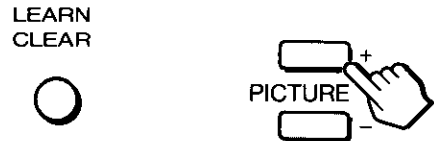
覚えさせた機能をすべて消すには



**1** LEARN-USEスイッチをLEARN側にする。



**2** LEARN CLEARボタンをシャープペンシルの先などで押しながらPICTUREの+ボタンを押す。



**ご注意**

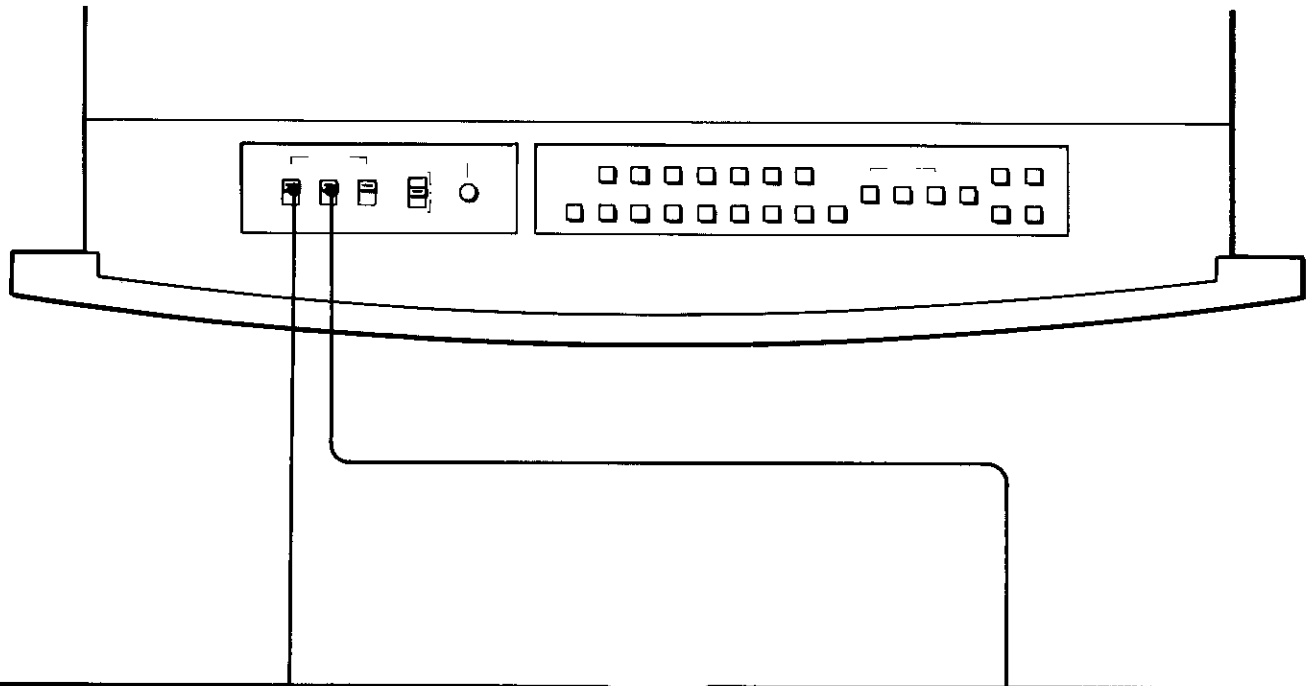
●覚えさせた機能を消すと、お買い上げ時のようにソニーのビデオ機器の操作ができるようになります。

●ある機能を覚えさせたボタンに新たに別の機能を覚えさせると、前に覚えさせた機能は自動的に消えます。

# 複数の機器を操作するには

さまざまなAV機器を組み合わせてお使いになる場合、それぞれの機器を別々に操作しなくてはならないのはとてもやっかいです。ところがこれらの機器を \* コントロールS端子同士でつないでおけば、AVシステムを中心となる機器に、各機器に付属のリモコンを向けて、接続した機器の操作もできます。組み合わせる機器を離して置くこともでき、大変便利です。

\* ソニー独自のコントロールシステムです。コントロールS端子の有無は機器によって異なります。



## WIRELESS ON/OFFスイッチ

通常はONにしておきます。

OFFにすると、モニターのリモコン受光部が、リモコンからの信号を受けつけなくなります。

## WIRED IN ON/OFFスイッチ

通常はONにしておきます。この状態では、コントロールS入力からモニターへの入力ができます。

OFFにすると、コントロールS信号はモニターへ入力されなくなります。

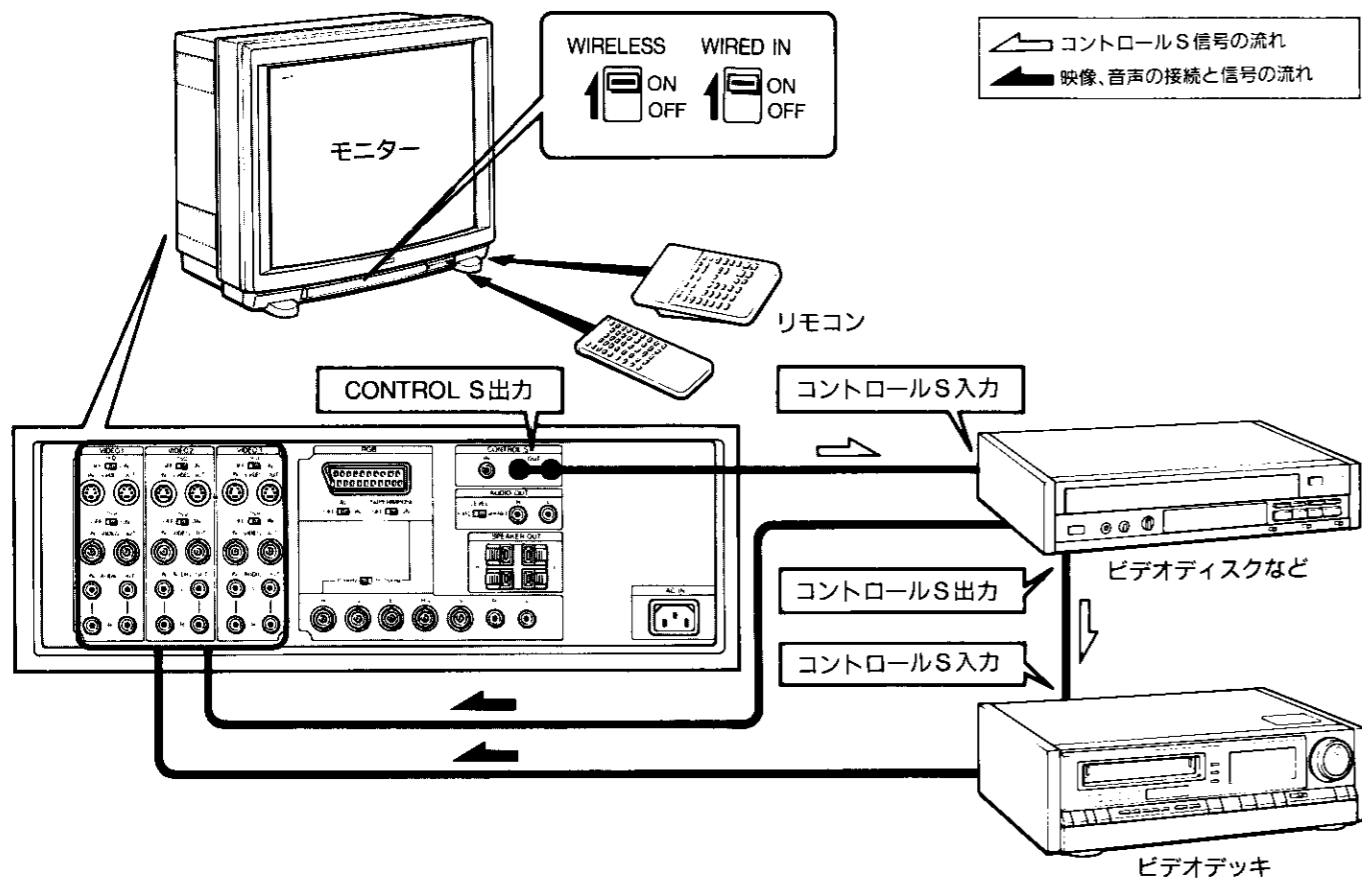
MANUAL ON/OFFスイッチについては ④1 ページをご覧ください。

WIRELESS ON/OFFスイッチは、コントロールSシステムを使い、モニター以外の機器を通して、モニターを操作する場合などは、OFFにしておきます。リモコンの信号とコントロールS信号が同時にモニターへ入るのを防げます。(④2 ページ)

# モニターのリモコン受光部を通して他の機器を操作するには

# 他の機器のリモコン受光部を通してモニターを操作するには

例 VIDEO 1, 2, 3 入力端子にビデオデッキ、カラーテレビチューナーなどをつないだ場合



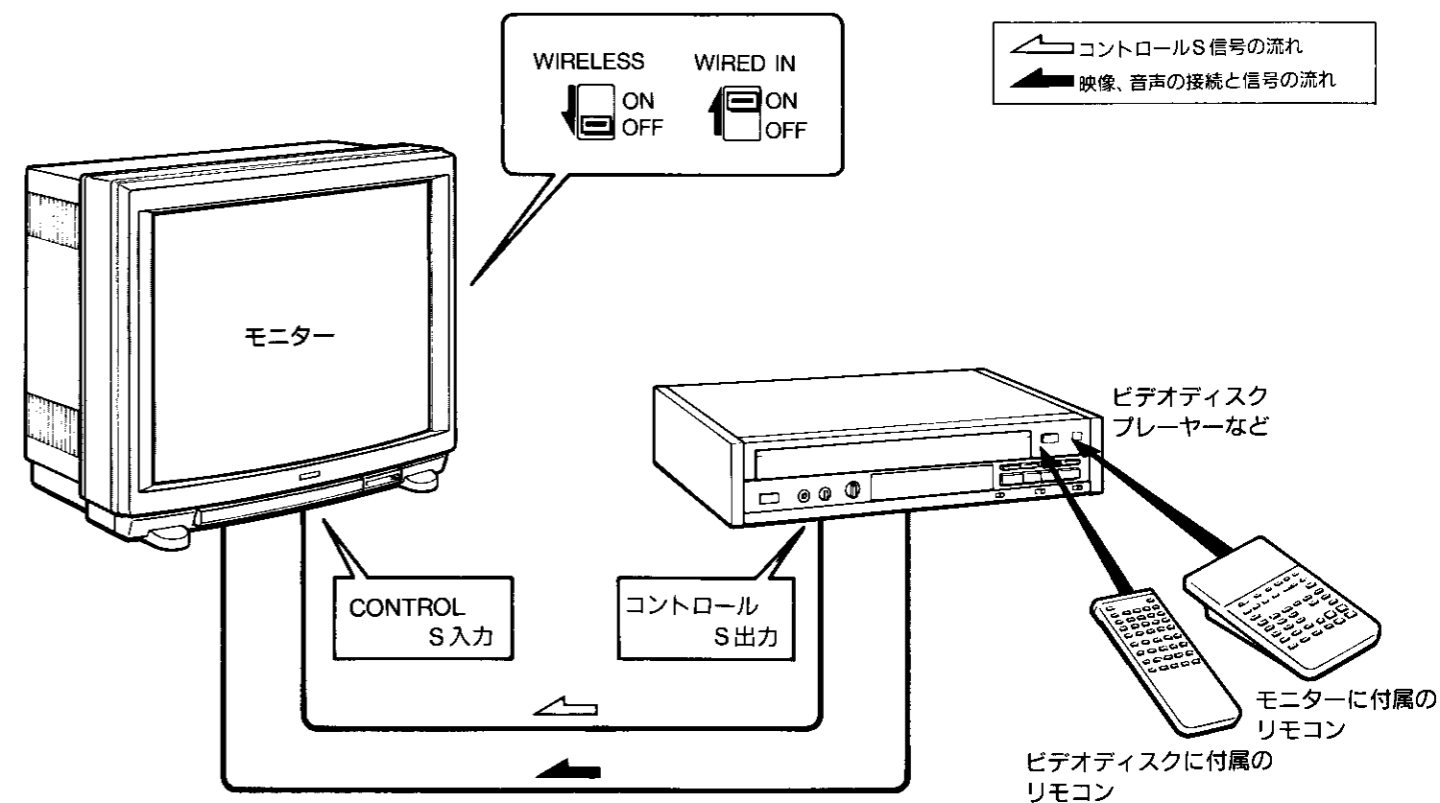
**1** ビデオディスクなどのコントロールS入力とモニターのCONTROL S出力をつなぎます。必要に応じて、他の映像機器も接続してください。

**2** モニター前面のスイッチの位置を確かめます。

WIRELESS ON/OFF スイッチ	→ ON に。
WIRED IN ON/OFF スイッチ	→ ON に。

**3** 各機器に付属のリモコンをモニターのリモコン受光部へ向けて操作します。リモコン信号がモニターのCONTROL S出力端子から各機器のコントロール入出力端子を通じて送られます。

例 VIDEO 1, 2, 3 入力端子にビデオディスクプレーヤー、ビデオデッキ、カラーテレビチューナーなどをつないだ場合

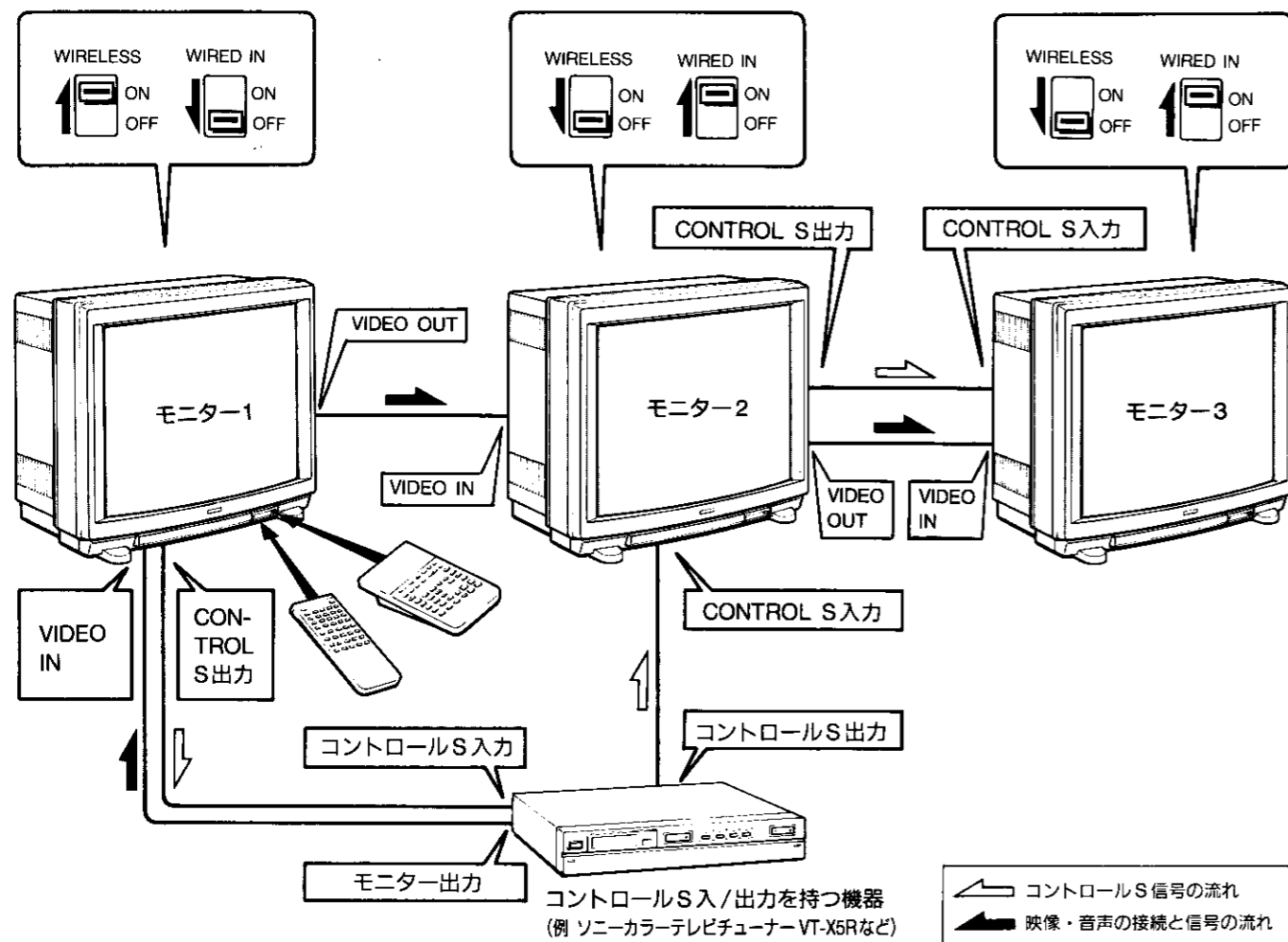


**1** ビデオディスクプレーヤーなどのコントロールS出力とモニターのCONTROL S入力をつなぎます。

**2** モニター前面のスイッチの位置を確かめます。

WIRELESS ON/OFF スイッチ	→ OFF に。
WIRED IN ON/OFF スイッチ	→ ON に。

**3** 各機器に付属のリモコンを、ビデオディスクプレーヤーなどのリモコン受光部に向けて操作します。リモコン信号が、ビデオディスクプレーヤーなどのコントロールS出力からモニターのCONTROL S入力へ送られます。

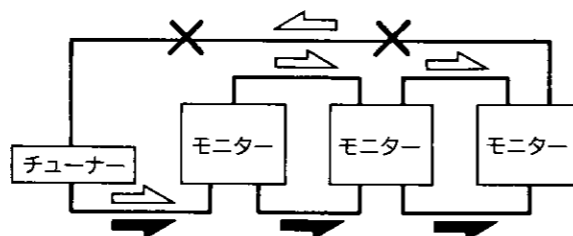


例えば、ビデオ機器を1台目のモニターのVIDEO 1,2または3入力端子につなぎ、さらにチューナーのコントロールS入力とモニターのCONTROL S出力をつないだ場合、1台目のモニターのWIRED IN ON/OFFスイッチはOFFにします。2台目以降のモニターの、WIRED IN ON/OFFスイッチはONに、WIRELESS ON/OFFスイッチはOFFにします。

●上図のような接続をすれば、1台のモニターに、付属の、または他の機器のリモコンを向けるだけで複数のモニターを操作できます。

●リモコンを向けて操作する中心モニター（上図ではモニター1）のCONTROL S出力は必ず映像ソースとなるチューナーなどのコントロールS入力へつないでください。

次のような接続をすると、コントロール信号が混乱して、正常な操作ができません。



## カラーモニター

受信方式	NTSC方式
カラー再生方式	トリニトロン方式
ブラウン管*	トリニトロン110度偏向 45型
画面寸法(幅/高さ/対角)	86.4/64.8/90.0cm
VIDEO 1,2,3入力端子	S映像入力：4ピンDINコネクタ Y入力：1Vp-p、75Ω、同期負 C入力：0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
VIDEO 1,2,3出力端子	S映像出力：4ピンDINコネクタ スルーアウト出力 (Y出力：1Vp-p、75Ω、同期負 C出力：0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω)
映像入力	BNCジャック、1Vp-p、75Ω 不平衡、同期負
音声入力	ピンジャック、2チャンネル 500mVrms インピーダンス47kΩ
映像出力	BNCジャック、 スルーアウト出力 (1Vp-p、75Ω、) 不平衡、同期負
音声出力	ピンジャック、2チャンネル スルーアウト出力
AUDIO OUT	ピンジャック、2チャンネル 500mVrms(固定時)/(100%変調時) 0~500mVrms(可変時)/(100%変調時) インピーダンス5kΩ
CONTROL S入力	ミニジャック、5Vp-p
出力	ミニジャック、5Vp-p
RGBマルチコネクタ	21ピン
SPEAKER OUT端子	インピーダンス8~16Ω
音声出力 (実用最大出力)	7W+7W(EIAJ/8Ω)
倍速RGB入力	RGB入力：BNCジャック、0.7Vp-p、 75Ω、正極性 H/V同期入力：BNCジャック、1Vp-p、 75Ω、負極性 V同期入力：BNCジャック、1Vp-p、 75Ω、負極性
電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	350W(スタンバイ時1.8W)
最大外形寸法	1050×925×767(mm)(幅/高さ/奥行)
重量	約200kg

付属品	プログラマブルコマンダー RM-572 (1)
	単3形乾電池 (4)
	BNC変換コネクタ (4)
	ブラケット(2種類) (各2)
	特約店用調整マニュアル (1)
	取扱説明書 (1)
	使用上のご注意 (1)
	保証書 (1)
	サービス窓口、ご相談窓口のご案内 (1)
	電源コード (1)
	スタンド固定用ねじ (2)

## 別売りアクセサリ

スタンド	SU-45ED
------	---------

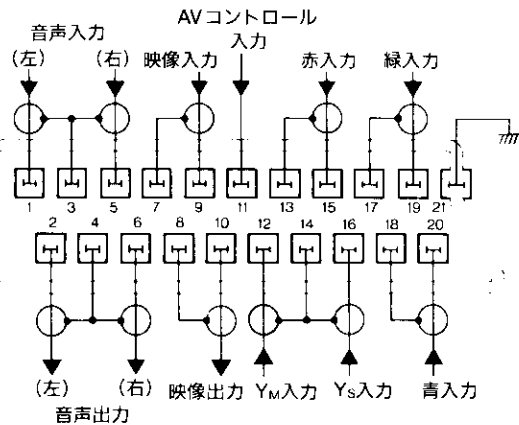
仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

\*テレビの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。



ピン配列

RGBマルチコネクタ

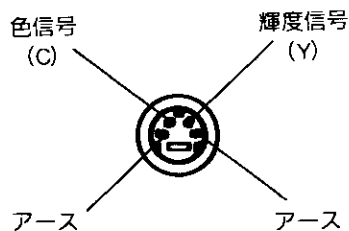


ピン信号	信号
1	音声入力 (左) (500mVrms, 100%変調時, 47kΩ)
2	音声出力 (左) (500mVrms, 100%変調時, 5kΩ)
3	アース
4	アース
5	音声入力 (右) (500mVrms, 100%変調時, 47kΩ)
6	音声出力 (右) (500mVrms, 100%変調時, 5kΩ)
7	アース
8	アース
9	映像/同期入力 (1Vp-p, 75Ω, 同期負)
10	映像/同期出力 (1Vp-p, 75Ω, 同期負)
11	AVコントロール入力 *
12	Y <sub>M</sub> 入力
13	アース
14	アース
15	赤入力 (0.7Vp-p, 75Ω, 正極性)
16	Y <sub>S</sub> 入力
17	アース
18	アース
19	緑入力 (0.7Vp-p, 75Ω, 正極性)
20	青入力 (0.7Vp-p, 75Ω, 正極性)
21	プラグシールド

日本電子機械工業会 TTC-003準拠

\* AVコントロール 入/切スイッチ付き

S映像入力端子(4ピンミニDIN)



# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

## アフターサービスについて

調子が悪いときは  
まずチェックを

→ この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

→ お買い上げ店、または添付の“サービス窓口、ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

→ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

→ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

なお、カラーモニターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

**型名：KX-45ED1**

**故障の状態：できるだけくわしく**

**購入年月日：**

## 異常と思ったら

音は出るが画面が映らない。煙が出ている、変な音やにおいがするなどの故障状態のまま使用すると危険です。すぐに差し込みプラグをコンセントから抜いてお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。